

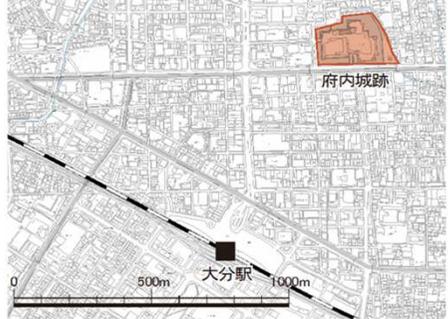
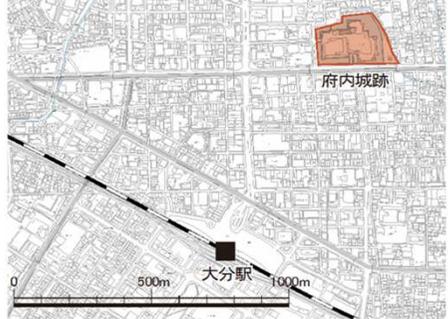
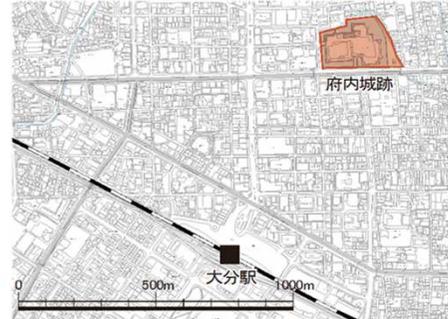
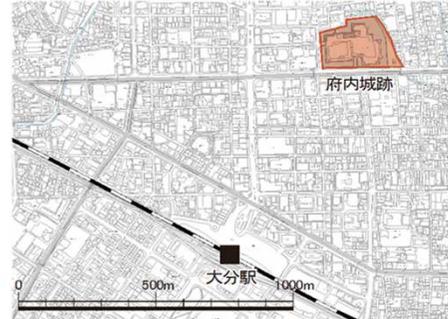
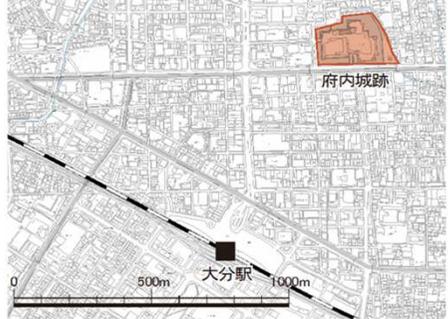
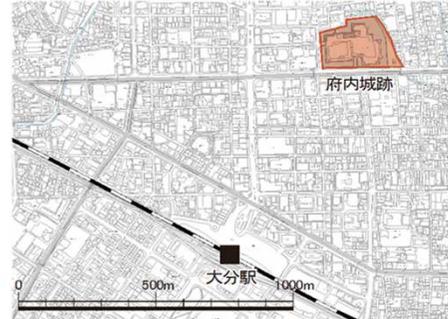
■新旧対照表

新	旧
<p>(P206)【文章修正】 (1)文化財の保存・活用の現状と今後の方針 本市には、国指定の文化財25件、県指定77件、市指定81件</p> <p>第5章 文化財の保存及び活用に関する事項</p> <p>1. 市全体に関する事項</p> <p>(1)文化財の保存・活用の現状と今後の方針</p> <p>本市には、国指定の文化財25件、県指定77件、市指定81件の有形・無形の文化財が所在しているこのほか国登録有形文化財35件、国・県・市の記録選択となっている無形の民俗文化財が3件ある。これらの指定文化財などは、文化財保護法、大分県文化財保護条例、大分市文化財保護条例の他、関連法令に基づき、これまで保護のための措置が講じられてきており、今後も引きつづき保護を図る。また、所有者などの理解のもと、その価値を広く認知し、後世に受け継いでいくため、歴史的建造物の公開・活用や情報発信、ユニバーサルデザインへの取り組みを進める。</p> <p>未指定の文化財については、文化財の指定・登録が進むよう、大学などの研究機関と連携し、歴史的建造物などに関する調査成果の推進や共有を図るとともに、その価値が認められたものについては、文化財指定・登録制度を活用し、保存管理や活用が図られるよう、計画的に修理・整備、防災対策などを実施する。また、第3章で挙げた「歴史的風致の周辺環境整備及び景観に関する課題」や「歴史的風致の情報発信と観光への活用に関する課題」などは、課題解決に向けた方針に基づき対応していく。</p> <p>なお、「文化財保存活用地域計画」については大分県による「文化財保存活用大綱」が策定されたのち、その内容を踏まえつつ策定に向けた検討を進める。</p> <p>○有形文化財(建造物)</p> <p>国・県・市指定の有形文化財(建造物)の保護にあたっては、適切な保存管理や活用が図られるよう、現状の保存状況を常に的確に把握するよう努めるとともに、今後これらの文化財をどう保存・活用すべきかについて、所有者や管理者と協議し、保存・活用に向けた修理や整備、防災対策などを計画的に実施していく。登録有形文化財については、所有者との連携を図りながら保存活用を進めるとともに、適切な補修ができるよう、建築士会などの専門家から助言を得られるような仕組みづくりを行う未指定・未登録の建造物については、建築士会などの連携をとりながら計画的な調査を進め、価値の認められるものについては、指定・登録を行う。</p> <p>○遺跡</p> <p>国・県・市の遺跡については、保存管理計画や整備基本計画を策定済みのものについては、適切に保存・管理を行い、計画的に整備を進める。未策定のもの及び市指定史跡については現状の保存状態を把握するよう努め、適切かつ必要な保存・管理の対策を講じる。とくに磨崖仏については劣化状況の把握と対策について環境調査をはじめとする総合的な調査にもとづいて進める。</p> <p>未指定の史跡候補の遺跡については、後世に保存、継承していくため、計画的な調査を行い、必要に応じて史跡として指定するよう進める。</p>	<p>(P206)【文章修正】 (1)文化財の保存・活用の現状と今後の方針 本市には、国指定の文化財22件、県指定75件、市指定80件</p> <p>第5章 文化財の保存及び活用に関する事項</p> <p>1. 市全体に関する事項</p> <p>(1)文化財の保存・活用の現状と今後の方針</p> <p>本市には、国指定の文化財22件、県指定75件、市指定80件の有形・無形の文化財が所在しているこのほか国登録有形文化財35件、国・県・市の記録選択となっている無形の民俗文化財が3件ある。これらの指定文化財などは、文化財保護法、大分県文化財保護条例、大分市文化財保護条例の他、関連法令に基づき、これまで保護のための措置が講じられてきており、今後も引きつづき保護を図る。また、所有者などの理解のもと、その価値を広く認知し、後世に受け継いでいくため、歴史的建造物の公開・活用や情報発信、ユニバーサルデザインへの取り組みを進める。</p> <p>未指定の文化財については、文化財の指定・登録が進むよう、大学などの研究機関と連携し、歴史的建造物などに関する調査成果の推進や共有を図るとともに、その価値が認められたものについては、文化財指定・登録制度を活用し、保存管理や活用が図られるよう、計画的に修理・整備、防災対策などを実施する。また、第3章で挙げた「歴史的風致の周辺環境整備及び景観に関する課題」や「歴史的風致の情報発信と観光への活用に関する課題」などは、課題解決に向けた方針に基づき対応していく。</p> <p>なお、「文化財保存活用地域計画」については大分県による「文化財保存活用大綱」が策定されたのち、その内容を踏まえつつ策定に向けた検討を進める。</p> <p>○有形文化財(建造物)</p> <p>国・県・市指定の有形文化財(建造物)の保護にあたっては、適切な保存管理や活用が図られるよう、現状の保存状況を常に的確に把握するよう努めるとともに、今後これらの文化財をどう保存・活用すべきかについて、所有者や管理者と協議し、保存・活用に向けた修理や整備、防災対策などを計画的に実施していく。登録有形文化財については、所有者との連携を図りながら保存活用を進めるとともに、適切な補修ができるよう、建築士会などの専門家から助言を得られるような仕組みづくりを行う未指定・未登録の建造物については、建築士会などの連携をとりながら計画的な調査を進め、価値の認められるものについては、指定・登録を行う。</p> <p>○遺跡</p> <p>国・県・市の遺跡については、保存管理計画や整備基本計画を策定済みのものについては、適切に保存・管理を行い、計画的に整備を進める。未策定のもの及び市指定史跡については現状の保存状態を把握するよう努め、適切かつ必要な保存・管理の対策を講じる。とくに磨崖仏については劣化状況の把握と対策について環境調査をはじめとする総合的な調査にもとづいて進める。</p> <p>未指定の史跡候補の遺跡については、後世に保存、継承していくため、計画的な調査を行い、必要に応じて史跡として指定するよう進める。</p>

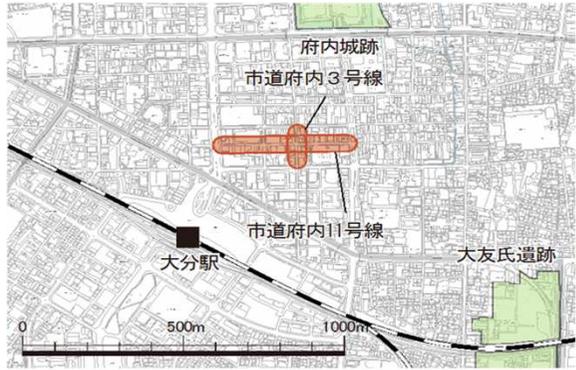
■新旧対照表

新	旧
<p>(P213)【事業期間の修正】 無電柱化・修景事業(市道府内3号線、市道府内11号線) (令和元年度～令和5年度) 鉄道残存敷における歴史的風致の回遊ルート整備事業 (平成28年度～令和6年度)</p> <p>【対象事業】 道路美装化・修景事業(都市計画道路中島錦町線)(事業期間:平成29年度～令和元年度) 無電柱化・修景事業(市道府内3号線、市道府内11号線)(事業期間:令和元年度～令和5年度) 鉄道残存敷における歴史的風致の回遊ルート整備事業(事業期間:平成28年度～令和6年度)</p> <p>(5) 文化財の防災に関する具体的な計画 重点区域内には、重要文化財柞原八幡宮をはじめ、重要文化財の美術工芸品を所蔵する金剛宝戒寺や大山寺、県指定史跡の建造物がある府内城跡などがあるため、毎年1月26日の文化財防火デーに合わせ、大分市教育委員会、大分市消防本部、各地区の消防団と文化財所有者・管理者が連携して消防訓練を継続する。 歴史的建造物においては、消防法で義務づけられている自動火災報知器や消火設備などの防火設備の設置を促すものとする他、必要に応じて耐震診断や耐震補強工事の実施などの地震対策への支援を行う。さらに、津波など、万が一の被災に備えて、文化財の詳細な記録の整備や、被災時には被災状況を記録するなど、文化財の被災後を見据え将来的な復元に資する資料などの整備に努める。 防犯対策として、日頃から写真などの記録を残すとともに、文化財やその周辺状況を確認し、整理整頓に努める。また、定期的な見回りを行うとともに、必要に応じて鍵や防犯カメラなどの防犯設備の強化を行う。公開を行う際には十分な監視ができるような監視体制を確保する。加えて、これらの対応を実施していることを看板や広報などで明示し、未然の抑止を図る。</p> <p>(6) 文化財の保存・活用の普及・啓発に関する具体的な計画 重点区域内において、文化財の普及啓発に関する取り組みを積極的に行う。 文化財のガイドブックを新たな視点で分かり易く作成するとともに、文化財のガイドを育成し、来訪者への案内解説はもとより、将来の担い手となる若者や児童・生徒への学習にも対応できるようにする。 また、文化財を活用したイベントや講演会、企画展などの歴史に親しむ企画を進め、広く周知を図り文化財の普及・啓発に努める。 特に、大友氏遺跡に関しては、平成25(2013)年度から小学校において大友宗麟をテーマとする副読本を用いた学習を行っており、平成29(2017)年度からは大友氏に関する歴史検定とジュニアガイドの育成を進めている。こうした試みを定着させて来訪者への案内解説を担える若い世代を育成するとともに、郷土の歴史や文化財への理解と愛着を深めることを目指す。</p> <p>【対象事業】 地域資源活用人材育成事業(事業期間:平成30年度～令和元年度)</p> <p>(7) 埋蔵文化財の取扱いに関する具体的な計画 市内で現在確認されている「周知の埋蔵文化財包蔵地」全422箇所のうち、重点区域内に存在するのは24箇所ある。その中でも柞原八幡宮遺跡、府内城下町跡、中世大友府内町跡、上野遺跡群、勢家遺跡の5遺跡については大分市の歴史上特に重要と考えられるため、慎重な対応が必要である。</p>	<p>(P213)【事業期間の修正】 無電柱化・修景事業(市道府内3号線、市道府内11号線) (令和元年度～令和4年度) 鉄道残存敷における歴史的風致の回遊ルート整備事業 (平成28年度～令和4年度)</p> <p>【対象事業】 道路美装化・修景事業(都市計画道路中島錦町線)(事業期間:平成29年度～令和元年度) 無電柱化・修景事業(市道府内3号線、市道府内11号線)(事業期間:令和元年度～令和4年度) 鉄道残存敷における歴史的風致の回遊ルート整備事業(事業期間:平成28年度～令和4年度)</p> <p>(5) 文化財の防災に関する具体的な計画 重点区域内には、重要文化財柞原八幡宮をはじめ、重要文化財の美術工芸品を所蔵する金剛宝戒寺や大山寺、県指定史跡の建造物がある府内城跡などがあるため、毎年1月26日の文化財防火デーに合わせ、大分市教育委員会、大分市消防本部、各地区の消防団と文化財所有者・管理者が連携して消防訓練を継続する。 歴史的建造物においては、消防法で義務づけられている自動火災報知器や消火設備などの防火設備の設置を促すものとする他、必要に応じて耐震診断や耐震補強工事の実施などの地震対策への支援を行う。さらに、津波など、万が一の被災に備えて、文化財の詳細な記録の整備や、被災時には被災状況を記録するなど、文化財の被災後を見据え将来的な復元に資する資料などの整備に努める。 防犯対策として、日頃から写真などの記録を残すとともに、文化財やその周辺状況を確認し、整理整頓に努める。また、定期的な見回りを行うとともに、必要に応じて鍵や防犯カメラなどの防犯設備の強化を行う。公開を行う際には十分な監視ができるような監視体制を確保する。加えて、これらの対応を実施していることを看板や広報などで明示し、未然の抑止を図る。</p> <p>(6) 文化財の保存・活用の普及・啓発に関する具体的な計画 重点区域内において、文化財の普及啓発に関する取り組みを積極的に行う。 文化財のガイドブックを新たな視点で分かり易く作成するとともに、文化財のガイドを育成し、来訪者への案内解説はもとより、将来の担い手となる若者や児童・生徒への学習にも対応できるようにする。 また、文化財を活用したイベントや講演会、企画展などの歴史に親しむ企画を進め、広く周知を図り文化財の普及・啓発に努める。 特に、大友氏遺跡に関しては、平成25(2013)年度から小学校において大友宗麟をテーマとする副読本を用いた学習を行っており、平成29(2017)年度からは大友氏に関する歴史検定とジュニアガイドの育成を進めている。こうした試みを定着させて来訪者への案内解説を担える若い世代を育成するとともに、郷土の歴史や文化財への理解と愛着を深めることを目指す。</p> <p>【対象事業】 地域資源活用人材育成事業(事業期間:平成30年度～令和元年度)</p> <p>(7) 埋蔵文化財の取扱いに関する具体的な計画 市内で現在確認されている「周知の埋蔵文化財包蔵地」全422箇所のうち、重点区域内に存在するのは24箇所ある。その中でも柞原八幡宮遺跡、府内城下町跡、中世大友府内町跡、上野遺跡群、勢家遺跡の5遺跡については大分市の歴史上特に重要と考えられるため、慎重な対応が必要である。</p>

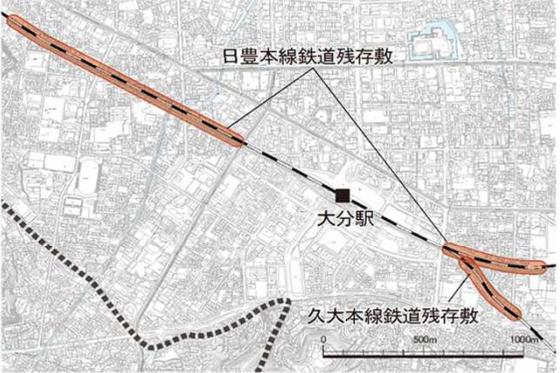
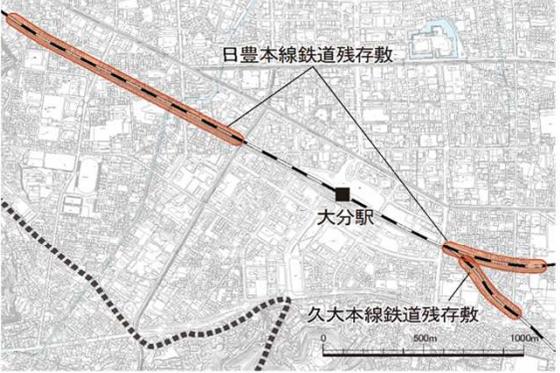
■新旧対照表

新	旧																												
<p>(P218)【事業期間の変更】 都市構造再編集中支援事業(令和2年度～令和5年度)</p>	<p>(P218)【事業期間の変更】 都市構造再編集中支援事業(令和2年度～令和4年度)</p>																												
<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>1. 大分城址公園整備・活用事業</td> </tr> <tr> <td>事業主体</td> <td>大分市</td> </tr> <tr> <td>事業手法 (支援事業名)</td> <td>社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業) (平成29年度～平成30年度) 都市構造再編集中支援事業(令和2年度～令和5年度) 市単独費</td> </tr> <tr> <td>事業期間</td> <td>平成29年度～令和8年度</td> </tr> <tr> <td>事業位置</td> <td>県指定・市指定史跡府内城跡内 </td> </tr> <tr> <td>事業概要</td> <td> <p>県指定・市指定史跡府内城跡である大分城址公園において、「大分城址公園整備・活用基本計画」に基づき修景整備を行う。整備にあたっては景観に配慮した質の高い都市空間を整備する。</p>  <p style="text-align: center;">大分城址公園の現在の様子</p> </td> </tr> <tr> <td>事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由</td> <td> <p>県指定・市指定史跡府内城跡の景観に配慮し、歴史的資産を整備することにより、質の高い都市空間を創出し新旧府内の祭礼にみる歴史的風致の維持向上に寄与する。</p> </td> </tr> </table>	事業名	1. 大分城址公園整備・活用事業	事業主体	大分市	事業手法 (支援事業名)	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業) (平成29年度～平成30年度) 都市構造再編集中支援事業(令和2年度～令和5年度) 市単独費	事業期間	平成29年度～令和8年度	事業位置	県指定・市指定史跡府内城跡内 	事業概要	<p>県指定・市指定史跡府内城跡である大分城址公園において、「大分城址公園整備・活用基本計画」に基づき修景整備を行う。整備にあたっては景観に配慮した質の高い都市空間を整備する。</p>  <p style="text-align: center;">大分城址公園の現在の様子</p>	事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>県指定・市指定史跡府内城跡の景観に配慮し、歴史的資産を整備することにより、質の高い都市空間を創出し新旧府内の祭礼にみる歴史的風致の維持向上に寄与する。</p>	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>1. 大分城址公園整備・活用事業</td> </tr> <tr> <td>事業主体</td> <td>大分市</td> </tr> <tr> <td>事業手法 (支援事業名)</td> <td>社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業) (平成29年度～平成30年度) 都市構造再編集中支援事業(令和2年度～令和4年度) 市単独費</td> </tr> <tr> <td>事業期間</td> <td>平成29年度～令和8年度</td> </tr> <tr> <td>事業位置</td> <td>県指定・市指定史跡府内城跡内 </td> </tr> <tr> <td>事業概要</td> <td> <p>県指定・市指定史跡府内城跡である大分城址公園において、「大分城址公園整備・活用基本計画」に基づき修景整備を行う。整備にあたっては景観に配慮した質の高い都市空間を整備する。</p>  <p style="text-align: center;">大分城址公園の現在の様子</p> </td> </tr> <tr> <td>事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由</td> <td> <p>県指定・市指定史跡府内城跡の景観に配慮し、歴史的資産を整備することにより、質の高い都市空間を創出し新旧府内の祭礼にみる歴史的風致の維持向上に寄与する。</p> </td> </tr> </table>	事業名	1. 大分城址公園整備・活用事業	事業主体	大分市	事業手法 (支援事業名)	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業) (平成29年度～平成30年度) 都市構造再編集中支援事業(令和2年度～令和4年度) 市単独費	事業期間	平成29年度～令和8年度	事業位置	県指定・市指定史跡府内城跡内 	事業概要	<p>県指定・市指定史跡府内城跡である大分城址公園において、「大分城址公園整備・活用基本計画」に基づき修景整備を行う。整備にあたっては景観に配慮した質の高い都市空間を整備する。</p>  <p style="text-align: center;">大分城址公園の現在の様子</p>	事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>県指定・市指定史跡府内城跡の景観に配慮し、歴史的資産を整備することにより、質の高い都市空間を創出し新旧府内の祭礼にみる歴史的風致の維持向上に寄与する。</p>
事業名	1. 大分城址公園整備・活用事業																												
事業主体	大分市																												
事業手法 (支援事業名)	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業) (平成29年度～平成30年度) 都市構造再編集中支援事業(令和2年度～令和5年度) 市単独費																												
事業期間	平成29年度～令和8年度																												
事業位置	県指定・市指定史跡府内城跡内 																												
事業概要	<p>県指定・市指定史跡府内城跡である大分城址公園において、「大分城址公園整備・活用基本計画」に基づき修景整備を行う。整備にあたっては景観に配慮した質の高い都市空間を整備する。</p>  <p style="text-align: center;">大分城址公園の現在の様子</p>																												
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>県指定・市指定史跡府内城跡の景観に配慮し、歴史的資産を整備することにより、質の高い都市空間を創出し新旧府内の祭礼にみる歴史的風致の維持向上に寄与する。</p>																												
事業名	1. 大分城址公園整備・活用事業																												
事業主体	大分市																												
事業手法 (支援事業名)	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業) (平成29年度～平成30年度) 都市構造再編集中支援事業(令和2年度～令和4年度) 市単独費																												
事業期間	平成29年度～令和8年度																												
事業位置	県指定・市指定史跡府内城跡内 																												
事業概要	<p>県指定・市指定史跡府内城跡である大分城址公園において、「大分城址公園整備・活用基本計画」に基づき修景整備を行う。整備にあたっては景観に配慮した質の高い都市空間を整備する。</p>  <p style="text-align: center;">大分城址公園の現在の様子</p>																												
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>県指定・市指定史跡府内城跡の景観に配慮し、歴史的資産を整備することにより、質の高い都市空間を創出し新旧府内の祭礼にみる歴史的風致の維持向上に寄与する。</p>																												

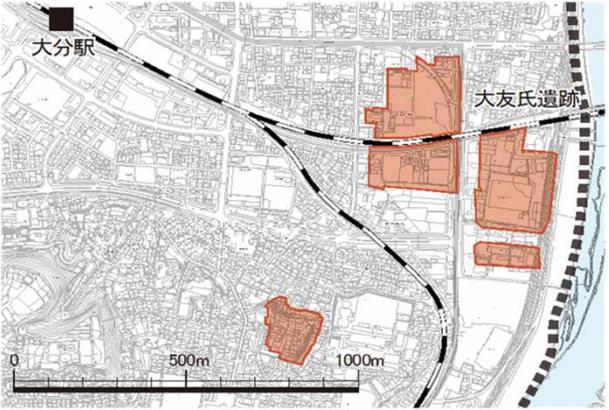
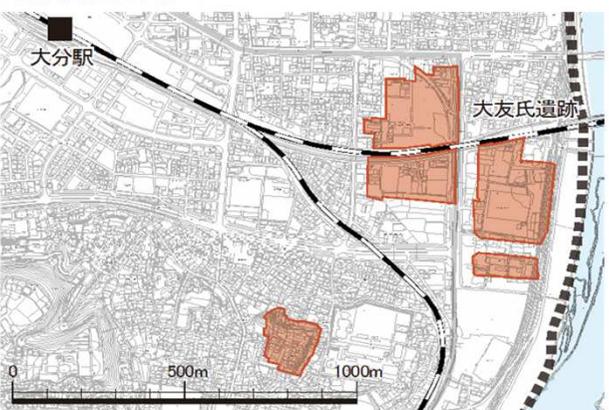
■新旧対照表

新	旧																				
<p>(P223)【事業期間の変更】 都市構造再編集集中支援事業(令和2年度～令和5年度) 事業期間(令和元年度～令和5年度)</p>	<p>(P223)【事業期間の変更】 都市構造再編集集中支援事業(令和2年度～令和4年度) 事業期間(令和元年度～令和4年度)</p>																				
<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>6. 無電柱化・修景事業 (市道府内3号線、市道府内11号線)</td> </tr> <tr> <td>事業主体</td> <td>大分市</td> </tr> <tr> <td>事業手法 (支援事業名)</td> <td>防災・安全交付金(令和元年度～令和4年度) 都市構造再編集集中支援事業(令和2年度～令和5年度) 無電柱化推進計画事業(令和3年度～令和4年度) 市単独費</td> </tr> <tr> <td>事業期間</td> <td>令和元年度～令和5年度</td> </tr> <tr> <td>事業位置</td> <td>市道府内3号線、市道府内11号線</td> </tr> </table>	事業名	6. 無電柱化・修景事業 (市道府内3号線、市道府内11号線)	事業主体	大分市	事業手法 (支援事業名)	防災・安全交付金(令和元年度～令和4年度) 都市構造再編集集中支援事業(令和2年度～令和5年度) 無電柱化推進計画事業(令和3年度～令和4年度) 市単独費	事業期間	令和元年度～令和5年度	事業位置	市道府内3号線、市道府内11号線	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>6. 無電柱化・修景事業 (市道府内3号線、市道府内11号線)</td> </tr> <tr> <td>事業主体</td> <td>大分市</td> </tr> <tr> <td>事業手法 (支援事業名)</td> <td>防災・安全交付金(令和元年度～令和4年度) 都市構造再編集集中支援事業(令和2年度～令和4年度) 無電柱化推進計画事業(令和3年度～令和4年度) 市単独費</td> </tr> <tr> <td>事業期間</td> <td>令和元年度～令和4年度</td> </tr> <tr> <td>事業位置</td> <td>市道府内3号線、市道府内11号線</td> </tr> </table>	事業名	6. 無電柱化・修景事業 (市道府内3号線、市道府内11号線)	事業主体	大分市	事業手法 (支援事業名)	防災・安全交付金(令和元年度～令和4年度) 都市構造再編集集中支援事業(令和2年度～令和4年度) 無電柱化推進計画事業(令和3年度～令和4年度) 市単独費	事業期間	令和元年度～令和4年度	事業位置	市道府内3号線、市道府内11号線
事業名	6. 無電柱化・修景事業 (市道府内3号線、市道府内11号線)																				
事業主体	大分市																				
事業手法 (支援事業名)	防災・安全交付金(令和元年度～令和4年度) 都市構造再編集集中支援事業(令和2年度～令和5年度) 無電柱化推進計画事業(令和3年度～令和4年度) 市単独費																				
事業期間	令和元年度～令和5年度																				
事業位置	市道府内3号線、市道府内11号線																				
事業名	6. 無電柱化・修景事業 (市道府内3号線、市道府内11号線)																				
事業主体	大分市																				
事業手法 (支援事業名)	防災・安全交付金(令和元年度～令和4年度) 都市構造再編集集中支援事業(令和2年度～令和4年度) 無電柱化推進計画事業(令和3年度～令和4年度) 市単独費																				
事業期間	令和元年度～令和4年度																				
事業位置	市道府内3号線、市道府内11号線																				
																					
<p>事業概要</p> <p>歴史的風致の概ね中心に位置しており、点在する歴史的建造物を結ぶ市道府内3号線及び市道府内11号線の無電柱化及び修景整備、照明灯設置を行う。</p>	<p>事業概要</p> <p>歴史的風致の概ね中心に位置しており、点在する歴史的建造物を結ぶ市道府内3号線及び市道府内11号線の無電柱化及び修景整備、照明灯設置を行う。</p>																				
<p>事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由</p> <p>市道府内3号線及び市道府内11号線は新旧府内の祭礼の歴史的風致の概ね中心に位置しており、点在する歴史的建造物を結ぶ道路であると共に、若宮八幡神社の祭礼ルートでもある。無電柱化と共に道路美装化を行う事で、歴史・文化を活かした景観の向上や、市民・来訪者の回遊の促進につながり、新旧府内の祭礼にみる歴史的風致の維持向上に寄与する。</p>	<p>事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由</p> <p>市道府内3号線及び市道府内11号線は新旧府内の祭礼の歴史的風致の概ね中心に位置しており、点在する歴史的建造物を結ぶ道路であると共に、若宮八幡神社の祭礼ルートでもある。無電柱化と共に道路美装化を行う事で、歴史・文化を活かした景観の向上や、市民・来訪者の回遊の促進につながり、新旧府内の祭礼にみる歴史的風致の維持向上に寄与する。</p>																				

■新旧対照表

新	旧																				
<p>(P224) 【事業期間の修正】 都市構造再編集中支援事業(令和2年度～令和6年度) 事業期間 (平成28年度～令和6年度)</p>	<p>(P224) 【事業期間の修正】 都市構造再編集中支援事業(令和2年度～令和4年度) 事業期間 (平成28年度～令和4年度)</p>																				
<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>7. 鉄道残存敷における歴史的風致の回遊ルート整備事業</td> </tr> <tr> <td>事業主体</td> <td>大分市</td> </tr> <tr> <td>事業手法 (支援事業名)</td> <td>社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(平成30年度～令和元年度) 都市構造再編集中支援事業(令和2年度～令和6年度) 市単独費</td> </tr> <tr> <td>事業期間</td> <td>平成28年度～令和6年度</td> </tr> <tr> <td>事業位置</td> <td>日豊本線鉄道残存敷・久大本線鉄道残存敷</td> </tr> </table>	事業名	7. 鉄道残存敷における歴史的風致の回遊ルート整備事業	事業主体	大分市	事業手法 (支援事業名)	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(平成30年度～令和元年度) 都市構造再編集中支援事業(令和2年度～令和6年度) 市単独費	事業期間	平成28年度～令和6年度	事業位置	日豊本線鉄道残存敷・久大本線鉄道残存敷	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>7. 鉄道残存敷における歴史的風致の回遊ルート整備事業</td> </tr> <tr> <td>事業主体</td> <td>大分市</td> </tr> <tr> <td>事業手法 (支援事業名)</td> <td>社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(平成30年度～令和元年度) 都市構造再編集中支援事業(令和2年度～令和4年度) 市単独費</td> </tr> <tr> <td>事業期間</td> <td>平成28年度～令和4年度</td> </tr> <tr> <td>事業位置</td> <td>日豊本線鉄道残存敷・久大本線鉄道残存敷</td> </tr> </table>	事業名	7. 鉄道残存敷における歴史的風致の回遊ルート整備事業	事業主体	大分市	事業手法 (支援事業名)	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(平成30年度～令和元年度) 都市構造再編集中支援事業(令和2年度～令和4年度) 市単独費	事業期間	平成28年度～令和4年度	事業位置	日豊本線鉄道残存敷・久大本線鉄道残存敷
事業名	7. 鉄道残存敷における歴史的風致の回遊ルート整備事業																				
事業主体	大分市																				
事業手法 (支援事業名)	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(平成30年度～令和元年度) 都市構造再編集中支援事業(令和2年度～令和6年度) 市単独費																				
事業期間	平成28年度～令和6年度																				
事業位置	日豊本線鉄道残存敷・久大本線鉄道残存敷																				
事業名	7. 鉄道残存敷における歴史的風致の回遊ルート整備事業																				
事業主体	大分市																				
事業手法 (支援事業名)	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(平成30年度～令和元年度) 都市構造再編集中支援事業(令和2年度～令和4年度) 市単独費																				
事業期間	平成28年度～令和4年度																				
事業位置	日豊本線鉄道残存敷・久大本線鉄道残存敷																				
																					
<table border="1"> <tr> <td>事業概要</td> <td>大分駅付近連続立体交差事業により生み出された鉄道残存敷において、都心南北軸と東西軸を中心とした中心市街地の回遊性を目的に、周辺施設と連携し整備を行う。</td> </tr> <tr> <td>事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由</td> <td>鉄道残存敷は、大友氏遺跡や西部海岸地区へのアクセスルートとして周辺施設と連携を行いながら整備することにより、都心南北軸と東西軸を中心とした来訪者の回遊が促進され、新旧府内の祭礼にみる歴史的風致の維持向上に寄与する。</td> </tr> </table>	事業概要	大分駅付近連続立体交差事業により生み出された鉄道残存敷において、都心南北軸と東西軸を中心とした中心市街地の回遊性を目的に、周辺施設と連携し整備を行う。	事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	鉄道残存敷は、大友氏遺跡や西部海岸地区へのアクセスルートとして周辺施設と連携を行いながら整備することにより、都心南北軸と東西軸を中心とした来訪者の回遊が促進され、新旧府内の祭礼にみる歴史的風致の維持向上に寄与する。	<table border="1"> <tr> <td>事業概要</td> <td>大分駅付近連続立体交差事業により生み出された鉄道残存敷において、都心南北軸と東西軸を中心とした中心市街地の回遊性を目的に、周辺施設と連携し整備を行う。</td> </tr> <tr> <td>事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由</td> <td>鉄道残存敷は、大友氏遺跡や西部海岸地区へのアクセスルートとして周辺施設と連携を行いながら整備することにより、都心南北軸と東西軸を中心とした来訪者の回遊が促進され、新旧府内の祭礼にみる歴史的風致の維持向上に寄与する。</td> </tr> </table>	事業概要	大分駅付近連続立体交差事業により生み出された鉄道残存敷において、都心南北軸と東西軸を中心とした中心市街地の回遊性を目的に、周辺施設と連携し整備を行う。	事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	鉄道残存敷は、大友氏遺跡や西部海岸地区へのアクセスルートとして周辺施設と連携を行いながら整備することにより、都心南北軸と東西軸を中心とした来訪者の回遊が促進され、新旧府内の祭礼にみる歴史的風致の維持向上に寄与する。												
事業概要	大分駅付近連続立体交差事業により生み出された鉄道残存敷において、都心南北軸と東西軸を中心とした中心市街地の回遊性を目的に、周辺施設と連携し整備を行う。																				
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	鉄道残存敷は、大友氏遺跡や西部海岸地区へのアクセスルートとして周辺施設と連携を行いながら整備することにより、都心南北軸と東西軸を中心とした来訪者の回遊が促進され、新旧府内の祭礼にみる歴史的風致の維持向上に寄与する。																				
事業概要	大分駅付近連続立体交差事業により生み出された鉄道残存敷において、都心南北軸と東西軸を中心とした中心市街地の回遊性を目的に、周辺施設と連携し整備を行う。																				
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	鉄道残存敷は、大友氏遺跡や西部海岸地区へのアクセスルートとして周辺施設と連携を行いながら整備することにより、都心南北軸と東西軸を中心とした来訪者の回遊が促進され、新旧府内の祭礼にみる歴史的風致の維持向上に寄与する。																				

■新旧対照表

新	旧																				
<p>(P227) 【事業期間の修正】 都市構造再編集中支援事業(令和2年度～令和7年度) 事業期間 (令和2年度～令和7年度) 【事業概要の追記】 庭園完成時(令和2年度)のみイベントを予定していたが、完成後も周知を図るために事業期間を延長し、イベントを実施する。</p>	<p>(P227) 【事業期間の修正】 都市構造再編集中支援事業(令和2年度) 事業期間 (令和2年度)</p>																				
<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>10. 大友氏遺跡歴史公園庭園公開イベント</td> </tr> <tr> <td>事業主体</td> <td>大分市</td> </tr> <tr> <td>事業手法 (支援事業名)</td> <td>都市構造再編集中支援事業(令和2年度～令和7年度) 市単独費</td> </tr> <tr> <td>事業期間</td> <td>令和2年度～令和7年度</td> </tr> <tr> <td>事業位置</td> <td>大友氏遺跡(国指定史跡)内</td> </tr> </table>	事業名	10. 大友氏遺跡歴史公園庭園公開イベント	事業主体	大分市	事業手法 (支援事業名)	都市構造再編集中支援事業(令和2年度～令和7年度) 市単独費	事業期間	令和2年度～令和7年度	事業位置	大友氏遺跡(国指定史跡)内	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>10. 大友氏遺跡歴史公園庭園公開イベント</td> </tr> <tr> <td>事業主体</td> <td>大分市</td> </tr> <tr> <td>事業手法 (支援事業名)</td> <td>都市構造再編集中支援事業(令和2年度) 市単独費</td> </tr> <tr> <td>事業期間</td> <td>令和2年度</td> </tr> <tr> <td>事業位置</td> <td>大友氏遺跡(国指定史跡)内</td> </tr> </table>	事業名	10. 大友氏遺跡歴史公園庭園公開イベント	事業主体	大分市	事業手法 (支援事業名)	都市構造再編集中支援事業(令和2年度) 市単独費	事業期間	令和2年度	事業位置	大友氏遺跡(国指定史跡)内
事業名	10. 大友氏遺跡歴史公園庭園公開イベント																				
事業主体	大分市																				
事業手法 (支援事業名)	都市構造再編集中支援事業(令和2年度～令和7年度) 市単独費																				
事業期間	令和2年度～令和7年度																				
事業位置	大友氏遺跡(国指定史跡)内																				
事業名	10. 大友氏遺跡歴史公園庭園公開イベント																				
事業主体	大分市																				
事業手法 (支援事業名)	都市構造再編集中支援事業(令和2年度) 市単独費																				
事業期間	令和2年度																				
事業位置	大友氏遺跡(国指定史跡)内																				
																					
<p>事業概要</p> <p>整備を進めている大友氏遺跡の庭園が完成する時期にあわせて、仮設の舞台などを設置し、庭園完成のイベントを実施する。 庭園完成時(令和2年度)のみイベントを予定していたが、完成後も周知を図るために事業期間を延長し、イベントを実施する。</p>	<p>事業概要</p> <p>整備を進めている大友氏遺跡の庭園が完成する時期にあわせて、仮設の舞台などを設置し、庭園完成のイベントを実施する。</p>																				
<p>事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由</p> <p>当地にあった大友館の庭園を復元にあわせて、その完成を広く周知する為のイベントを開催することで市民や来訪者に向けて歴史的価値について発信できるとともに、新旧府内の祭礼にみる歴史的風致に触れる機会の創出が図られる。</p>	<p>事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由</p> <p>当地にあった大友館の庭園を復元にあわせて、その完成を広く周知する為のイベントを開催することで市民や来訪者に向けて歴史的価値について発信できるとともに、新旧府内の祭礼にみる歴史的風致に触れる機会の創出が図られる。</p>																				

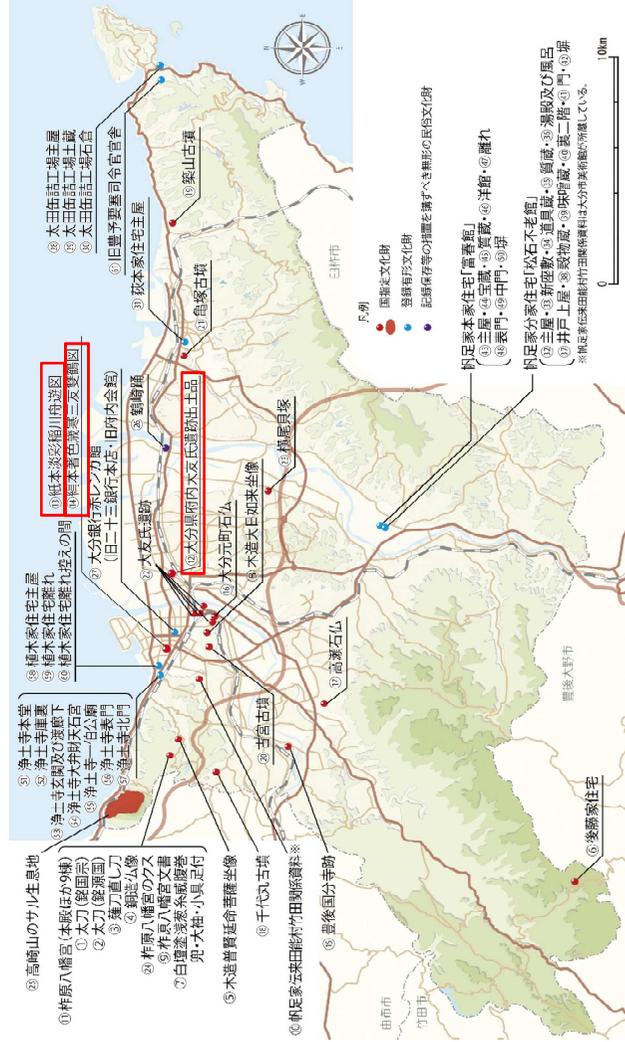
■新旧対照表

新							旧						
(P246) 【文化財一覧の修正】 大分市にある国指定等文化財一覧 ア 重要文化財 (重要文化財3件追加) 大分市にある国・県・市指定等の文化財一覧 大分市にある国指定等文化財一覧 ア 重要文化財							(P246) 【文化財一覧の修正】 大分市にある国指定等文化財一覧 ア 重要文化財 大分市にある国・県・市指定等の文化財一覧 大分市にある国指定等文化財一覧 ア 重要文化財						
番号	名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	摘要	参考	番号	名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	摘要	参考
①	太刀	八幡	柞原八幡宮	昭和25.8.29	銘 国宗 長さ 75.8cm	鎌倉時代	①	太刀	八幡	柞原八幡宮	昭和25.8.29	銘 国宗 長さ 75.8cm	鎌倉時代
②	太刀	八幡	柞原八幡宮	昭和25.8.29	銘 源国(以下一字並年号不明) 長さ 108cm	鎌倉時代	②	太刀	八幡	柞原八幡宮	昭和25.8.29	銘 源国(以下一字並年号不明) 長さ 108cm	鎌倉時代
③	薙刀直し刀	八幡	柞原八幡宮	昭和25.8.29	銘 表 国重八幡大菩薩 裏 天満大自在天神	鎌倉時代末期～南北朝時代	③	薙刀直し刀	八幡	柞原八幡宮	昭和25.8.29	銘 表 国重八幡大菩薩 裏 天満大自在天神	鎌倉時代末期～南北朝時代
④	銅造仏像	八幡	柞原八幡宮	昭和25.8.29	社伝 阿弥陀如来立像 金剛仏 重さ 11.25kg 像高 30.3cm	白鳳時代	④	銅造仏像	八幡	柞原八幡宮	昭和25.8.29	社伝 阿弥陀如来立像 金剛仏 重さ 11.25kg 像高 30.3cm	白鳳時代
⑤	木造普賢延命菩薩坐像	八幡	大山寺	昭和50.6.12	標材 像高 87.7cm	平安時代	⑤	木造普賢延命菩薩坐像	八幡	大山寺	昭和50.6.12	標材 像高 87.7cm	平安時代
⑥	後藤家住宅	杵ヶ原	個人所有	昭和50.6.23	18世紀中頃の庄屋の母屋 寄棟造 茅葺	江戸時代	⑥	後藤家住宅	杵ヶ原	個人所有	昭和50.6.23	18世紀中頃の庄屋の母屋 寄棟造 茅葺	江戸時代
⑦	白壇塗浅葱糸威腹巻兜・大袖・小具足付	八幡	柞原八幡宮	昭和55.6.6	胴高 32.3cm 草摺高 28.5cm 兜鉢高 18.0cm	室町時代末期	⑦	白壇塗浅葱糸威腹巻兜・大袖・小具足付	八幡	柞原八幡宮	昭和55.6.6	胴高 32.3cm 草摺高 28.5cm 兜鉢高 18.0cm	室町時代末期
⑧	木造大日如来坐像	上野丘	金剛宝戒寺	平成3.6.21	文保2年(1318)康俊作 檜材寄木造 像高 303.8cm	鎌倉時代	⑧	木造大日如来坐像	上野丘	金剛宝戒寺	平成3.6.21	文保2年(1318)康俊作 檜材寄木造 像高 303.8cm	鎌倉時代
⑨	柞原八幡宮文書	八幡	柞原八幡宮	平成3.6.21	柞原宮領関係史料(213通) 元和7年	平安時代～江戸時代	⑨	柞原八幡宮文書	八幡	柞原八幡宮	平成3.6.21	柞原宮領関係史料(213通) 元和7年	平安時代～江戸時代
⑩	帆足家伝来 田能村竹田関係資料	大分市美術館	大分市	平成6.6.28	紙本墨画淡彩花卉図外25点	江戸時代	⑩	帆足家伝来 田能村竹田関係資料	大分市美術館	大分市	平成6.6.28	紙本墨画淡彩花卉図外25点	江戸時代
⑪	柞原八幡宮	八幡	柞原八幡宮	平成23.6.20	本殿・東宝殿・西宝殿・申殿・拜殿・楼門・東回廊・西回廊・西門・南大門の10棟	江戸～明治時代	⑪	柞原八幡宮	八幡	柞原八幡宮	平成23.6.20	本殿・東宝殿・西宝殿・申殿・拜殿・楼門・東回廊・西回廊・西門・南大門の10棟	江戸～明治時代
⑫	大分県内大友氏遺跡出土品	大分県立埋蔵文化財センター	大分県	令和1.7.23	大友氏居館周辺の町屋や寺院跡での出土品計1269点。中国や朝鮮半島、東南アジア産の陶磁器、キリスト教に関わるメダル、ガラス製のコンタ。	戦国時代	⑫	豊後国分寺跡	国分	大分市	昭和8.2.28	国分僧寺 追加指定(昭和58.9.8 昭和61.5.28)	奈良時代
⑬	紙本淡彩福川舟遊図	大分県立美術館	大分県	昭和37.6.21	田能村竹田筆 文政12年(1829)の作。	江戸時代	⑬	大分元町石仏	元町	大分市	昭和9.1.22	日蓮または仁開の作と伝えられる 保存修理 昭和46・52・53・61年以降	平安時代
⑭	絹本着色叢三友雙鶴図	大分県立美術館	大分県	昭和38.7.1	田能村竹田筆 天保3年(1832)頼山陽 震華 角田九華の賛がある。屈曲する梅の幹の下に双鶴を配し、椿竹を添える。	江戸時代	⑭	高瀬石仏	高瀬	大分市	昭和9.1.22	石窟を彫り込み奥壁に東を向いて彫られる	平安～鎌倉時代
イ 史跡							イ 史跡						
番号	名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	摘要	参考	番号	名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	摘要	参考
⑮	豊後国分寺跡	国分	大分市	昭和8.2.28	国分僧寺 追加指定(昭和58.9.8 昭和61.5.28)	奈良時代	⑮	千代丸古墳	宮苑	大分市	昭和9.5.1	裝飾古墳 横穴式石室	古墳時代後期
⑯	大分元町石仏	元町	大分市	昭和9.1.22	日蓮または仁開の作と伝えられる 保存修理 昭和46・52・53・61年以降	平安時代	⑯	築山古墳	本神崎	八幡神社	昭和11.9.3	前方後円墳 箱式石棺	古墳時代中期
⑰	高瀬石仏	高瀬	大分市	昭和9.1.22	石窟を彫り込み奥壁に東を向いて彫られる	平安～鎌倉時代	⑰	古宮古墳	三芳	大分市	昭和58.5.11	石棺式石室墳 九州では他に例なし	古墳時代終末期
⑱	千代丸古墳	宮苑	大分市	昭和9.5.1	裝飾古墳 横穴式石室	古墳時代後期	⑱	亀塚古墳	里	大分市	平成8.3.28	前方後円墳 全長約116m	古墳時代中期
⑲	築山古墳	本神崎	八幡神社	昭和11.9.3	前方後円墳 箱式石棺	古墳時代中期	⑲	大友氏遺跡	顕徳	大分市	平成13.8.13	九州6国を支配した大友宗麟を全盛期とする戦国大名・大友氏の拠点方2町(200m四方)の大友氏館跡、旧万寿寺跡・御蔵場・上原館からなる	戦国時代
⑳	古宮古墳	三芳	大分市	昭和58.5.11	石棺式石室墳 九州では他に例なし	古墳時代終末期	㉑	横尾貝塚	横尾	大分市	平成21.2.12	縄文時代の集落の移り変わりが復元できる 縄文時代からの地形と自然がよく残されている	縄文時代
㉑	亀塚古墳	里	大分市	平成8.3.28	前方後円墳 全長約116m	古墳時代中期	ウ 天然記念物						
㉒	大友氏遺跡	顕徳	大分市	平成13.8.13	九州6国を支配した大友宗麟を全盛期とする戦国大名・大友氏の拠点方2町(200m四方)の大友氏館跡、旧万寿寺跡・御蔵場・上原館からなる	戦国時代	番号	名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	摘要	参考
㉓	横尾貝塚	横尾	大分市	平成21.2.12	縄文時代の集落の移り変わりが復元できる 縄文時代からの地形と自然がよく残されている	縄文時代	㉒	柞原八幡宮のクス	八幡	柞原八幡宮	大正11.3.8	自生のクス 樹高約30m 幹囲約18.5m	
							㉓	高崎山のサル生息地	神崎	大分市	昭和28.11.14	都市近郊における日本猿の自然的集団	

■新旧対照表

新

(P249) 【国指定・国登録文化財の分布修正】
(重要文化財3件追加)



旧

(P249) 【国指定・国登録文化財の分布修正】



■新旧対照表

新

(P250~P252) 【文化財一覧の修正】(重要文化財4件追加、2件削除)
大分市にある県指定文化財一覧 ア 重要文化財

(P250) 重要文化財1件追加、1件削除

大分市にある県指定文化財一覧
ア 重要文化財

番号	名称または物件	所在地	所有者 または 管理団体	指定年月日	概要	参考
①	柞原八幡宮文書 附絵図	八幡	柞原八幡宮	昭和 35. 3. 22	絵図のみ	江戸時代
②	八幡宇佐宮 御託宣集附裏書	八幡	柞原八幡宮	昭和 35. 3. 22	宇佐神宮に関する記録 16 巻と裏書 2 からなる 文明 2 年 (1470)	室町時代
③	陀摩文書	大分市 歴史資料館	個人所有	昭和 35. 3. 22	合計 11 巻 286 点の文書 嘉応元年 (1169) ~ 慶長 16 年 (1611)	平安時代末期~ 江戸時代初期
④	都甲文書	大分県立 先哲史料館	個人所有	昭和 35. 3. 22	合計 4 巻 90 通	平安~江戸時代
⑤	須恵器	大分県立 埋蔵文化財 センター	国東市	昭 41. 3. 22	国東市安岐町の築山古墳から出土した須恵器の壺ならびに器台である。総高 48.5 cm。	古墳時代
⑥	刀	森	個人所有	昭和 43. 3. 29	豊州高田庄 藤原行長 慶長 5 年 (1600)	戦国時代
⑦	刀	田尻	個人所有	昭和 40. 3. 9	銘 貞行 応永時代	室町時代前半
⑧	刀	高松東	個人所有	昭和 43. 3. 29	銘 平鎮教 長さ 81. 6cm 永禄年間	戦国時代
⑨	木造不動明王坐像	上野丘	金剛宝戒寺	昭和 44. 3. 22	樟材 寄木造 像高 86. 3cm	平安時代後期
⑩	木造不動明王立像	八幡	柞原八幡宮	昭和 45. 3. 31	樟材 寄木造 像高 78. 8cm	鎌倉時代末期~ 南北朝時代初期
⑪	木造女神形坐像	八幡	柞原八幡宮	昭和 45. 3. 31	樟材 一木造 像高 39. 5cm	平安時代後期
⑫	木造菩薩形坐像	八幡	柞原八幡宮	昭和 45. 3. 31	樟材 一木造 像高 46. 6cm	〃
⑬	木造祖師形坐像	八幡	柞原八幡宮	昭和 45. 3. 31	樟材 一木造 像高 54. 8cm	平安時代末期
⑭	板彫多開天立像	八幡	柞原八幡宮	昭和 45. 3. 31	樟材 一木造 像高 78. 4cm	鎌倉時代
⑮	板彫不動明王立像	八幡	柞原八幡宮	昭和 45. 3. 31	樟材 一木造 像高 76. 9cm	〃
⑯	紙本着色由原八幡宮 縁起絵巻附極書二通	八幡	柞原八幡宮	昭和 45. 3. 31	絵 土佐光茂 詞 青蓮院宮尊鎮法親王	室町時代
⑰	紺紙金泥増老阿含経	八幡	柞原八幡宮	昭和 45. 3. 31	11 紙 縦 34cm 横 64. 2cm 文和 4 年 (1355) に尼法忍により施入	平安時代末期
⑱	山水時絵縁起絵巻 納箱	八幡	柞原八幡宮	昭和 45. 3. 31	銘 元和八年 (1622) 中川秀征 (岡藩 2 代藩主) 寄進	江戸時代初期
⑲	紙本着色既図 六曲屏風一雙	上野丘	円寿寺	昭和 46. 3. 23	土佐派の画風春俊と秋俊 (各) 150. 0×52. 5cm	江戸時代中期
㉑	絹本着色柿本人磨図	上野丘	円寿寺	昭和 46. 3. 23	土佐信実筆の墨書あり 縦 34. 5cm 横 37. 5cm	鎌倉時代後期
㉒	刀	千代町	個人所有	昭和 49. 3. 19	銘 藤原統行 平成 16. 6. 21 所有者変更による	※削除
㉓	紙本着色風俗画	大分県立 美術館	宗玄寺	昭和 53. 3. 31	大分県杵築市宗玄寺所有 大分県立美術館 寄託	
㉔	安藤家刀	横尾	個人所有	昭和 54. 5. 15	銘 豊州高田住大和太極藤原貞行 平成 16. 6. 21 所有者変更による	
㉕	中間石幢	志津留	共有	昭和 55. 4. 8	造立者の墨書銘あり 応永 6 年 (1399) 造立	室町時代
㉖	万年橋	寒田	西寒多神社	昭和 55. 4. 8	文久 2 年 (1862) 建造 (西寒多神社境内)	江戸時代
㉗	金剛宝戒寺 木造釈迦如来立像	上野丘	金剛宝戒寺	昭和 57. 3. 30	樟材 寄木造 像高 161. 6cm	鎌倉時代
㉘	豊後国諸檢地帳	大分県立 先哲史料館	大分県	昭和 57. 3. 30	文禄 2 年 (1593) 7 冊 他全 82 冊 平成 9 年大分県立先哲資料館	安土桃山~ 江戸時代初期
㉙	太刀	坂ノ市	個人所有	昭和 63. 3. 15	銘 豊州之住人直宗作 応永十八年 (1411) 〇月十五日	室町時代
㉚	木造聖徳太子立像	上野丘	金剛宝戒寺	平成 9. 3. 25	樟材 寄木造 像高 68cm	鎌倉時代後期~ 南北朝時代
㉛	刀	大道町	個人所有	平成 10. 3. 20	豊後国高田住藤原貞行作	江戸時代

旧

(P250~P252) 【文化財一覧の修正】
大分市にある県指定文化財一覧 ア 重要文化財

(P250)

大分市にある県指定文化財一覧
ア 重要文化財

番号	名称または物件	所在地	所有者 または 管理団体	指定年月日	概要	参考
①	柞原八幡宮文書 附絵図	八幡	柞原八幡宮	昭和 35. 3. 22	絵図のみ	江戸時代
②	八幡宇佐宮 御託宣集附裏書	八幡	柞原八幡宮	昭和 35. 3. 22	宇佐神宮に関する記録 16 巻と裏書 2 からなる 文明 2 年 (1470)	室町時代
③	陀摩文書	大分市 歴史資料館	個人所有	昭和 35. 3. 22	合計 11 巻 286 点の文書 嘉応元年 (1169) ~ 慶長 16 年 (1611)	平安時代末期~ 江戸時代初期
④	都甲文書	大分県立 先哲史料館	個人所有	昭和 35. 3. 22	合計 4 巻 90 通	平安~江戸時代
⑤	刀	森	個人所有	昭和 43. 3. 29	豊州高田庄 藤原行長 慶長 5 年 (1600)	戦国時代
⑥	刀	野津原	個人所有	昭和 40. 3. 9	銘 貞行 応永時代	室町時代前半
⑦	刀	高松東	個人所有	昭和 43. 3. 29	銘 平鎮教 長さ 81. 6cm 永禄年間	戦国時代
⑧	木造不動明王坐像	上野丘	金剛宝戒寺	昭和 44. 3. 22	樟材 寄木造 像高 86. 3cm	平安時代後期
⑨	木造不動明王立像	八幡	柞原八幡宮	昭和 45. 3. 31	樟材 寄木造 像高 78. 8cm	鎌倉時代末期~ 南北朝時代初期
⑩	木造女神形坐像	八幡	柞原八幡宮	昭和 45. 3. 31	樟材 一木造 像高 39. 5cm	平安時代後期
⑪	木造菩薩形坐像	八幡	柞原八幡宮	昭和 45. 3. 31	樟材 一木造 像高 46. 6cm	〃
⑫	木造祖師形坐像	八幡	柞原八幡宮	昭和 45. 3. 31	樟材 一木造 像高 54. 8cm	平安時代末期
⑬	板彫多開天立像	八幡	柞原八幡宮	昭和 45. 3. 31	樟材 一木造 像高 78. 4cm	鎌倉時代
⑭	板彫不動明王立像	八幡	柞原八幡宮	昭和 45. 3. 31	樟材 一木造 像高 76. 9cm	〃
⑮	紙本着色由原八幡宮 縁起絵巻附極書二通	八幡	柞原八幡宮	昭和 45. 3. 31	絵 土佐光茂 詞 青蓮院宮尊鎮法親王	室町時代
⑯	紺紙金泥増老阿含経	八幡	柞原八幡宮	昭和 45. 3. 31	11 紙 縦 34cm 横 64. 2cm 文和 4 年 (1355) に尼法忍により施入	平安時代末期
⑰	山水時絵縁起絵巻 納箱	八幡	柞原八幡宮	昭和 45. 3. 31	銘 元和八年 (1622) 中川秀征 (岡藩 2 代藩主) 寄進	江戸時代初期
⑱	紙本着色既図 六曲屏風一雙	上野丘	円寿寺	昭和 46. 3. 23	土佐派の画風春俊と秋俊 (各) 150. 0×52. 5cm	江戸時代中期
⑲	絹本着色柿本人磨図	上野丘	円寿寺	昭和 46. 3. 23	土佐信実筆の墨書あり 縦 34. 5cm 横 37. 5cm	鎌倉時代後期
㉑	刀	千代町	個人所有	昭和 49. 3. 19	銘 藤原統行 平成 16. 6. 21 所有者変更による	
㉓	紙本着色風俗画	大分県立 美術館	宗玄寺	昭和 53. 3. 31	大分県杵築市宗玄寺所有 大分県立美術館 寄託	
㉔	安藤家刀	横尾	個人所有	昭和 54. 5. 15	銘 豊州高田住大和太極藤原貞行 平成 16. 6. 21 所有者変更による	
㉕	中間石幢	志津留	共有	昭和 55. 4. 8	造立者の墨書銘あり 応永 6 年 (1399) 造立	室町時代
㉖	万年橋	寒田	西寒多神社	昭和 55. 4. 8	文久 2 年 (1862) 建造 (西寒多神社境内)	江戸時代
㉗	金剛宝戒寺 木造釈迦如来立像	上野丘	金剛宝戒寺	昭和 57. 3. 30	樟材 寄木造 像高 161. 6cm	鎌倉時代
㉘	豊後国諸檢地帳	大分県立 先哲史料館	大分県	昭和 57. 3. 30	文禄 2 年 (1593) 7 冊 他全 82 冊 平成 9 年大分県立先哲資料館	安土桃山~ 江戸時代初期
㉙	太刀	坂ノ市	個人所有	昭和 63. 3. 15	銘 豊州之住人直宗作 応永十八年 (1411) 〇月十五日	室町時代
㉚	木造聖徳太子立像	上野丘	金剛宝戒寺	平成 9. 3. 25	樟材 寄木造 像高 68cm	鎌倉時代後期~ 南北朝時代
㉛	刀	大道町	個人所有	平成 10. 3. 20	豊後国高田住藤原貞行作	江戸時代
㉜	脇差	大道町	個人所有	平成 10. 3. 20	豊後国高田住藤原貞行作	江戸時代

■新旧対照表

新

旧

(P251) 重要文化財2件追加、1件削除

(P251)

番号	名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	摘要	参考
㉔	脇差	大道町	個人所有	平成 10. 3. 20	豊後国高田住藤原實行作	江戸時代
㉕	築山古墳出土品	本神崎	築山古墳保存会	平成 10. 3. 20	築山古墳出土品一括	古墳時代
㉖	絹本着色阿弥陀如来迎図	森町	専想寺	平成 11. 3. 23	1 幅	室町時代
㉗	木造阿弥陀如来立像	森町	専想寺	平成 11. 3. 23	1 軀	鎌倉時代
㉘	巴形銅器	埋蔵文化財センター	大分県	平成 11. 3. 23	考古資料	弥生時代
㉙	教導寺 (7 棟)	本神崎	教導寺	平成 11. 3. 23	本堂・庫裡付玄関・書院・御殿・経蔵・鐘楼・山門	江戸時代
㉚	絹本着色中川家歴代藩主画像	大分県立美術館	西光寺	平成 12. 3. 24	大分県竹田市西光寺所有 大分県立美術館 寄託	江戸時代
㉛	刀 (平長盛)	常行	個人所有	平成 13. 4. 3	銘 平長盛 (豊後の作風強く残す)	室町時代
㉜	刀 (平長盛)	森町	個人所有	平成 13. 4. 3	銘文 平長盛 平成 19. 7. 24 所有者変更で臼杵市より	室町時代
㉝	木造聖観音菩薩坐像	八幡	大山寺	平成 14. 3. 29	樟材 一木造 像高 273. 5cm	平安時代
㉞	木造十一面観音菩薩立像	永興	臨濟寺	平成 14. 3. 29	桧材 寄木造 像高 170cm 平成 18. 5. 18 所有者変更	平安時代
㉟	早吸日女神社総門	佐賀関	早吸日女神社	平成 16. 3. 30	切妻造 本瓦葺	江戸時代
㊱	早吸日女神社本殿	佐賀関	早吸日女神社	平成 16. 3. 30	三間社流造 檜皮葺	江戸時代
㊲	早吸日女神社社家 (小野家住宅)	佐賀関	早吸日女神社	平成 16. 3. 30	入母屋造 棧瓦葺	江戸時代
㊳	長湯横穴墓群第 7 号墓出土品	埋蔵文化財センター	大分県	平成 17. 3. 29	鹿角製刀装具装着鉄刀 他 計 28 点	古墳時代後期
㊴	木造地藏菩薩立像 (愛宕地藏)	青石	妙蔵寺保存会	平成 17. 3. 30	像高 81. 5cm 材質檜 寄木造 彫眼 漆箔が施されている	鎌倉時代
㊵	絹本着色涅槃図	上野丘	金剛宝戒寺	平成 18. 3. 31	縦 212. 3cm 横 214. 5cm	鎌倉時代
㊶	木造聖徳太子二歳立像	勢家町	法専寺	平成 18. 3. 31	桧材寄木造 玉眼 像高 68. 2cm	鎌倉時代
㊷	銅造如来立像	上野丘	金剛宝戒寺	平成 19. 3. 30	総高 16. 3cm 像高 15. 1cm 銅造造製 鍍金あり	飛鳥～白鳳時代
㊸	大生生木宝篋印塔	十谷	西岡神社	平成 21. 3. 17	銘 應安六年 (1373) 「塔供養」と刻まれている 平成 21 年大分市指定から県指定へ	南北朝時代
㊹	王ノ瀬石棺	大分市海部古墳資料館	共有	平成 24. 3. 13	家形石棺 辻古墳の主体部が王ノ瀬石棺だった可能性が高い	古墳時代中期
㊺	先哲史料館 稲葉家文書	大分県立先哲史料館	大分県	平成 26. 2. 14	臼杵藩主稲葉家に伝えられた文書	江戸時代
㊻	猪野遺跡出土銅矛	大分市歴史資料館	大分市	平成 28. 2. 23	弥生中期末から後期初頭にかけて制作されたと思われる中広形銅矛	弥生時代中期～後期
㊼	木造釈迦如来坐像	松岡	長興寺	平成 28. 2. 23	鎌倉時代から南北朝時代にかけて、慶派仏師の作と考えられる	鎌倉時代末期～南北朝時代初期
㊽	佐知遺跡 17 遺構出土品	大分県立埋蔵文化財センター	大分県	平成 28. 2. 23	中津市三光佐知遺跡から出土した遺物。男性を埋葬した墓で、太刀、鉄製矢じり等 46 点。	鎌倉時代
㊾	龍頭遺跡出土編袋	大分県立埋蔵文化財センター	大分県	平成 28. 2. 23	杵築市山香町野原 龍頭遺跡より出土。ツル植物で編まれた袋。当時の技法がわかる。	縄文時代後期
㊿	高野山本堂院文書 一方平 I 遺跡出土石器群	大分県立先哲史料館 埋蔵文化財センター	大分県	平成 29. 3. 7	大友氏およびその家臣、近世大名にかかる書簡等 1946 点の文書が残されている 大分市横尾字一方平から出土した石器群石器製作技術の全工程が復元できる資料	中世～近代
①	東田室遺跡出土 絵画土器	埋蔵文化財センター	大分県	平成 29. 3. 7	大分市田室町古墳時代の竪穴住居跡から出土 龍文のひれ部分が描かれた絵画文様	古墳時代 中期前半
②	中世大友府内町跡出土 キリシタン関係遺物	埋蔵文化財センター	大分県	平成 29. 3. 7	大分市顕徳町を中心とした中世大友府内町跡出土のメダイ等キリシタン関係資料	戦国時代 (16 世紀後半)
③	西日市遺跡出土 木簡墓出土品	埋蔵文化財センター	大分県	平成 30. 2. 6	「青磁唾壺」「陶入宝鏡」等の出土 被葬者は大宰府に關係する珠蔀郡の官人と考えられる	平安時代

番号	名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	摘要	参考
㉑	築山古墳出土品	本神崎	築山古墳保存会	平成 10. 3. 20	築山古墳出土品一括	古墳時代
㉒	絹本着色阿弥陀如来迎図	森町	専想寺	平成 11. 3. 23	1 幅	室町時代
㉓	木造阿弥陀如来立像	森町	専想寺	平成 11. 3. 23	1 軀	鎌倉時代
㉔	巴形銅器	埋蔵文化財センター	大分県	平成 11. 3. 23	考古資料	弥生時代
㉕	教導寺 (7 棟)	本神崎	教導寺	平成 11. 3. 23	本堂・庫裡付玄関・書院・御殿・経蔵・鐘楼・山門	江戸時代
㉖	絹本着色中川家歴代藩主画像	大分県立美術館	西光寺	平成 12. 3. 24	大分県竹田市西光寺所有 大分県立美術館 寄託	江戸時代
㉗	刀	常行	個人所有	平成 13. 4. 3	銘 平長盛 (豊後の作風強く残す)	室町時代
㉘	刀	森町	個人所有	平成 13. 4. 3	銘文 平長盛 平成 19. 7. 24 所有者変更で臼杵市より	室町時代
㉙	木造聖観音菩薩坐像	八幡	大山寺	平成 14. 3. 29	樟材 一木造 像高 273. 5cm	平安時代
㉚	木造十一面観音菩薩立像	永興	臨濟寺	平成 14. 3. 29	桧材 寄木造 像高 170cm 平成 18. 5. 18 所有者変更	平安時代
㉛	早吸日女神社総門	佐賀関	早吸日女神社	平成 16. 3. 30	切妻造 本瓦葺	江戸時代
㉜	早吸日女神社本殿	佐賀関	早吸日女神社	平成 16. 3. 30	三間社流造 檜皮葺	江戸時代
㉝	早吸日女神社社家 (小野家住宅)	佐賀関	早吸日女神社	平成 16. 3. 30	入母屋造 棧瓦葺	江戸時代
㉞	長湯横穴墓群第 7 号墓出土品	埋蔵文化財センター	大分県	平成 17. 3. 29	鹿角製刀装具装着鉄刀 他 計 28 点	古墳時代後期
㉟	木造地藏菩薩立像 (愛宕地藏)	青石	妙蔵寺保存会	平成 17. 3. 30	像高 81. 5cm 材質檜 寄木造 彫眼 漆箔が施されている	鎌倉時代
㊱	絹本着色涅槃図	上野丘	金剛宝戒寺	平成 18. 3. 31	縦 212. 3cm 横 214. 5cm	鎌倉時代
㊲	木造聖徳太子二歳立像	勢家町	法専寺	平成 18. 3. 31	桧材寄木造 玉眼 像高 68. 2cm	鎌倉時代
㊳	銅造如来立像	上野丘	金剛宝戒寺	平成 19. 3. 30	総高 16. 3cm 像高 15. 1cm 銅造造製 鍍金あり	飛鳥～白鳳時代
㊴	大生生木宝篋印塔	十谷	西岡神社	平成 21. 3. 17	銘 應安六年 (1373) 「塔供養」と刻まれている 平成 21 年大分市指定から県指定へ	南北朝時代
㊵	王ノ瀬石棺	大分市海部古墳資料館	共有	平成 24. 3. 13	家形石棺 辻古墳の主体部が王ノ瀬石棺だった可能性が高い	古墳時代中期
㊶	先哲史料館 稲葉家文書	大分県立先哲史料館	大分県	平成 26. 2. 14	臼杵藩主稲葉家に伝えられた文書	江戸時代
㊷	猪野遺跡出土銅矛	大分市歴史資料館	大分市	平成 28. 2. 23	弥生中期末から後期初頭にかけて制作されたと思われる中広形銅矛	弥生時代中期～後期
㊸	木造釈迦如来坐像	松岡	長興寺	平成 28. 2. 23	鎌倉時代から南北朝時代にかけて、慶派仏師の作と考えられる	鎌倉時代末期～南北朝時代初期
㊹	高野山本堂院文書	大分県立先哲史料館	大分県	平成 29. 3. 7	大友氏およびその家臣、近世大名にかかる書簡等 1946 点の文書が残されている	中世～近代
①	一方平 I 遺跡出土石器群	埋蔵文化財センター	大分県	平成 29. 3. 7	大分市横尾字一方平から出土した石器群石器製作技術の全工程が復元できる資料	旧石器時代後期
②	東田室遺跡出土 絵画土器	埋蔵文化財センター	大分県	平成 29. 3. 7	大分市田室町古墳時代の竪穴住居跡から出土 龍文のひれ部分が描かれた絵画文様	古墳時代 中期前半
③	中世大友府内町跡出土 キリシタン関係遺物	埋蔵文化財センター	大分県	平成 29. 3. 7	大分市顕徳町を中心とした中世大友府内町跡出土のメダイ等キリシタン関係資料	戦国時代 (16 世紀後半)
④	西日市遺跡出土 木簡墓出土品	埋蔵文化財センター	大分県	平成 30. 2. 6	「青磁唾壺」「陶入宝鏡」等の出土 被葬者は大宰府に關係する珠蔀郡の官人と考えられる	平安時代

■新旧対照表

新							旧							
(P252) 重要文化財1件追加							(P252)							
番号	名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	摘要	参考	イ 史跡	番号	名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	摘要	参考
㉔	絹本着色隠元・木庵・即非三幅対像	田室町	長福寺	平成 30. 2. 6	黄檗宗三禅師肖像画 寛文元年(1661)制作	江戸時代	㉔	丑殿古墳	賀来	丑殿神社	昭和 30. 5. 28	横穴式石室 家形石棺(昭和47年保存施設)	古墳時代後期	
㉕	四日市遺跡出土木簡墓出土品	埋蔵文化財センター	大分県	平成 30. 2. 6	「青磁唾壺」「購入宝鏡」等の出土 被葬者は大宰府に関係する玖珠郡の官人と考えられる	平安時代	㉕	脇蘭室墓	鶴崎	大分市	昭和 32. 3. 26	墓碑 表面に高弟帆足萬里による「文教脇先生墓」の6字	江戸時代	
㉖	田尻家文書 附仏像二軀・鏡一面	大分県立先哲史料館	大分県	令和 2. 2. 25	田尻家は大夫氏 4代目親時の孫を祖先としており、豊後国と肥後国に配属された。国境地帯の動向を知る貴重な文書	室町時代～江戸時代	㉖	楠木生石造五重塔	下戸次	個人所有	昭和 34. 3. 20	銘 延文五年(1360)庚子三月十七日	南北朝時代	
イ 史跡							ウ 記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財							
番号	名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	摘要	参考	番号	名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	摘要	参考	
㉗	丑殿古墳	賀来	丑殿神社	昭和 30. 5. 28	横穴式石室 家形石棺(昭和47年保存施設)	古墳時代後期	㉗	賀来神社卯酉の神事	賀来	共有	昭和 33. 3. 25	記録保存の措置を講ずべきものとして選択「賀来の市」		
㉘	脇蘭室墓	鶴崎	大分市	昭和 32. 3. 26	墓碑 表面に高弟帆足萬里による「文教脇先生墓」の6字	江戸時代	㉘	鶴崎踊	鶴崎	鶴崎おどり保存会	昭和 56. 3. 31	記録保存の措置を講ずべきものとして選択	国選択無形民俗文化財 市指定無形民俗文化財	
㉙	楠木生石造五重塔	下戸次	個人所有	昭和 34. 3. 20	銘 延文五年(1360)庚子三月十七日	南北朝時代	㉙	高島のピロウ自生地	高島	大分市	昭和 30. 5. 27	1株		
㉚	府内城跡	大手町荷揚町	大分市	昭和 38. 2. 15	石垣 土塀 堀 櫓 2 櫓跡 1	江戸時代	㉚	高島のウミネコ営巣地	高島	大分市	昭和 30. 5. 27	400羽程度 5月～8月中旬に営巣		
㉛	曲石仏付双塔(五輪塔)・磨崖連碑	曲	共有	昭和 41. 3. 23	磨崖仏 石窟内に丸彫りの像や陽刻の像が安置される	平安時代末期～室町時代	エ 天然記念物							
㉜	口戸磨崖仏附磨崖五輪双塔	口戸	個人所有	昭和 44. 3. 22	宇佐八幡宮と関連ある磨崖仏	鎌倉時代末期～室町時代	番号	名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	摘要	参考	
㉝	毛利空桑旧宅及び塾跡	鶴崎	大分市	昭和 45. 3. 31	空桑私宅「天勝堂」塾「知来館」安政4年(1857)一緒に建設 遺品館に遺品陳列	江戸時代	㉛	高島のピロウ自生地	高島	大分市	昭和 30. 5. 27	1株		
㉞	岩屋寺石仏	古国府	円寿寺	昭和 45. 3. 31	国指定解除物件	鎌倉～室町時代	㉜	高島のウミネコ営巣地	高島	大分市	昭和 30. 5. 27	400羽程度 5月～8月中旬に営巣		
㉟	参勤交代道路	今市	大分市	昭和 47. 3. 21	幅 2.1m 長さ 660m の石畳	江戸時代	エ 天然記念物							
㊱	蓬萊山古墳	庄ノ原	共有	昭和 56. 3. 31	前方後円墳 全長 60m	古墳時代前期	番号	名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	摘要	参考	
㊲	毛利空桑墓	常行	共有	昭和 62. 6. 29	墓碑「日本国儒者毛利到墓」と大書 陰刻 昭和 36. 3. 14 指定後地番誤記判明昭和 62. 6. 29 再指定	江戸時代	㊱	高島のピロウ自生地	高島	大分市	昭和 30. 5. 27	1株		
㊳	小牧山古墳群	松岡	大分市	平成 23. 2. 29	方墳 3 円墳 2 前方後円墳 1 保存状態良好	古墳時代	㊲	高島のウミネコ営巣地	高島	大分市	昭和 30. 5. 27	400羽程度 5月～8月中旬に営巣		
ウ 記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財							エ 天然記念物							
番号	名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	摘要	参考	番号	名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	摘要	参考	
㊴	賀来神社卯酉の神事	賀来	共有	昭和 33. 3. 25	記録保存の措置を講ずべきものとして選択「賀来の市」		㊳	高島のピロウ自生地	高島	大分市	昭和 30. 5. 27	1株		
㊵	鶴崎踊	鶴崎	鶴崎おどり保存会	昭和 56. 3. 31	記録保存の措置を講ずべきものとして選択	国選択無形民俗文化財 市指定無形民俗文化財	㊴	高島のウミネコ営巣地	高島	大分市	昭和 30. 5. 27	400羽程度 5月～8月中旬に営巣		
エ 天然記念物							エ 天然記念物							
番号	名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	摘要	参考	番号	名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	摘要	参考	
㊶	高島のピロウ自生地	高島	大分市	昭和 30. 5. 27	1株		㊵	高島のピロウ自生地	高島	大分市	昭和 30. 5. 27	1株		
㊷	高島のウミネコ営巣地	高島	大分市	昭和 30. 5. 27	400羽程度 5月～8月中旬に営巣		㊶	高島のウミネコ営巣地	高島	大分市	昭和 30. 5. 27	400羽程度 5月～8月中旬に営巣		

灰色の網掛けは分布図に表示していない

■新旧対照表

新							旧						
(P254・P256) 【文化財一覧の修正】(有形文化財2件追加、1件削除) 大分市にある市指定文化財一覧 ア 有形文化財							(P254・P256) 【文化財一覧の修正】 大分市にある市指定文化財一覧 ア 有形文化財						
(P254) 有形文化財1件削除 大分市にある市指定文化財一覧 ア 有形文化財							(P254) 大分市にある市指定文化財一覧 ア 有形文化財						
番号	名称または物件	所在地	所有者 または 管理団体	指定年月日	摘要	参考	番号	名称または物件	所在地	所有者 または 管理団体	指定年月日	摘要	参考
①	熊野権現縁起絵巻	津守	熊野神社	昭和49.1.9	松平忠直の遺品 全13巻(熊野神社)	江戸時代	①	熊野権現縁起絵巻	津守	熊野神社	昭和49.1.9	松平忠直の遺品 全13巻(熊野神社)	江戸時代
②	神庫	寒田	西塞多神社	昭和49.1.9	校倉造 応永15年(1408) 明治19年改修(西塞多神社境内)	室町時代	②	神庫	寒田	西塞多神社	昭和49.1.9	校倉造 応永15年(1408) 明治19年改修(西塞多神社境内)	室町時代
③	鳥居	王子町	王子神社	昭和49.1.9	寛政8年(1796)2月建立(王子神社境内)	江戸時代	③	鳥居	王子町	王子神社	昭和49.1.9	寛政8年(1796)2月建立(王子神社境内)	江戸時代
④	刀(大・小)	府内町	個人所有	昭和49.1.9	毛利空桑所持刀 刀 長さ 89.5cm 脇差 長さ 59.0cm	刀 室町時代 脇指 江戸時代	④	刀(大・小)	府内町	個人所有	昭和49.1.9	毛利空桑所持刀 刀 長さ 89.5cm 脇差 長さ 59.0cm	刀 室町時代 脇指 江戸時代
⑤	刀	大分市 歴史資料館	大分市	昭和49.1.9	銘表 豊府家士神狐丸盛利行年七十才作 裏 天保9年(1838) 戊戌2月■日 任望角幸安殿	江戸時代	⑤	刀	大分市 歴史資料館	大分市	昭和49.1.9	銘表 豊府家士神狐丸盛利行年七十才作 裏 天保9年(1838) 戊戌2月■日 任望角幸安殿	江戸時代
⑥	円寿寺相伝文書及び大友資料	上野丘	円寿寺	昭和51.8.24	開基道勇置文以下15件内 大友関係資料 1巻12通	鎌倉～室町時代	⑥	円寿寺相伝文書及び大友資料	上野丘	円寿寺	昭和51.8.24	開基道勇置文以下15件内 大友関係資料 1巻12通	鎌倉～室町時代
⑦	大般若経本附納函	大分県立 先哲史料館	円寿寺	昭和51.8.24	寛正4年(1463)寄進	室町時代	⑦	大般若経本附納函	大分県立 先哲史料館	円寿寺	昭和51.8.24	寛正4年(1463)寄進	室町時代
⑧	御城下絵図	大分市 歴史資料館	大分市	昭和56.8.1	府内藩主が府内城下から「浜の市」を見物に行く行列を中心に絵巻物仕立てで描いたもの	江戸時代	⑧	御城下絵図	大分市 歴史資料館	大分市	昭和56.8.1	府内藩主が府内城下から「浜の市」を見物に行く行列を中心に絵巻物仕立てで描いたもの	江戸時代
⑨	十一面観音立像	国分	国分寺	昭和56.8.1	桜材 寄木造 像高 106.2cm 藤原弘の特徵	平安時代後期	⑨	十一面観音立像	国分	国分寺	昭和56.8.1	桜材 寄木造 像高 106.2cm 藤原弘の特徵	平安時代後期
⑩	万寿寺石造国東塔	金池町	万寿寺	昭和56.8.1	国東地方に発達した宝塔の一種	鎌倉時代	⑩	万寿寺石造国東塔	金池町	万寿寺	昭和56.8.1	国東地方に発達した宝塔の一種	鎌倉時代
⑪	波奈之丸屏風 (厳島神社図)	大分市 歴史資料館	個人所有	平成2.7.16	御座船波奈之丸に置かれた屏風	江戸時代前期	⑪	波奈之丸屏風 (厳島神社図)	大分市 歴史資料館	個人所有	平成2.7.16	御座船波奈之丸に置かれた屏風	江戸時代前期
⑫	熊本藩船鶴崎入港船絵馬	東鶴崎	鯛八幡社	平成3.3.27	熊本藩の参勤交代船の模様を描いた絵馬 [寛政10年(1798)]	江戸時代	⑫	熊本藩船鶴崎入港船絵馬	東鶴崎	鯛八幡社	平成3.3.27	熊本藩の参勤交代船の模様を描いた絵馬 [寛政10年(1798)]	江戸時代
⑬	岡藩船三佐入港船絵馬	三佐	野坂神社	平成3.3.27	岡藩の参勤交代船の模様を描いた絵馬 [文化10年(1813)]	江戸時代	⑬	岡藩船三佐入港船絵馬	三佐	野坂神社	平成3.3.27	岡藩の参勤交代船の模様を描いた絵馬 [文化10年(1813)]	江戸時代
⑭	府内藩校遊弐館絵図	大分市 歴史資料館	弥栄神社	平成6.2.28	遊弐館の学習風景を描いた絵図	江戸時代末期	⑭	府内藩校遊弐館絵図	大分市 歴史資料館	弥栄神社	平成6.2.28	遊弐館の学習風景を描いた絵図	江戸時代末期
⑮	帆足本家酒造蔵	中戸次	大分市	平成11.3.23	酒造過程のわかる木造建築物	明治～大正時代	⑮	帆足本家酒造蔵	中戸次	大分市	平成11.3.23	酒造過程のわかる木造建築物	明治～大正時代
⑯	脇指	府内町	個人所有	平成16.3.31	銘表 豊州藤原友行 裏 貞治七年(1368)三月日	南北朝時代	⑯	脇指	府内町	個人所有	平成16.3.31	銘表 豊州藤原友行 裏 貞治七年(1368)三月日	南北朝時代
⑰	刀	森町	個人所有	平成16.3.31	銘表 豊後国高田住次右衛門藤原統行 裏 明暦元年(1655)九月吉日	江戸時代初期	⑰	刀	森町	個人所有	平成16.3.31	銘表 豊後国高田住次右衛門藤原統行 裏 明暦元年(1655)九月吉日	江戸時代初期
⑱	刀	永興	個人所有	平成16.3.31	銘表 長谷部國重 相伝の名門の一派 「府内國重」とも呼ばれる	室町時代後期	⑱	刀	永興	個人所有	平成16.3.31	銘表 長谷部國重 相伝の名門の一派 「府内國重」とも呼ばれる	室町時代後期
⑲	木造宝冠釈迦如来座像	太田	個人所有	平成17.3.31	桜材 寄木造 像高 68.5cm	南北朝時代	⑲	木造宝冠釈迦如来座像	太田	個人所有	平成17.3.31	桜材 寄木造 像高 68.5cm	南北朝時代
⑳	木造毘沙門天立像	恵良	西福寺	平成17.3.31	桜材 寄木造 像高 65cm	江戸時代前半	⑳	木造毘沙門天立像	恵良	西福寺	平成17.3.31	桜材 寄木造 像高 65cm	江戸時代前半
㉑	木造薬師三尊立像	本町	福城寺	平成17.3.31	桜材 一木彫成	室町時代前半	㉑	木造薬師三尊立像	本町	福城寺	平成17.3.31	桜材 一木彫成	室町時代前半
㉒	銅造観音菩薩立像	今市	安楽寺	平成17.3.31	銅製の像 像高 26.2cm 懸仏	鎌倉時代後半	㉒	銅造観音菩薩立像	今市	安楽寺	平成17.3.31	銅製の像 像高 26.2cm 懸仏	鎌倉時代後半
㉓	丸山八幡神社楼門	今市	丸山八幡神社	平成17.3.31	享保5年(1720)入母屋造 3回修理	江戸時代	㉓	丸山八幡神社楼門	今市	丸山八幡神社	平成17.3.31	享保5年(1720)入母屋造 3回修理	江戸時代
㉔	木造地藏菩薩立像 (愛宕地藏)	本神崎	八幡神社	平成17.3.31	像高 96.8cm、台高 36.5cm 材質 檜 寄木造	江戸時代初期	㉔	木造地藏菩薩立像 (愛宕地藏)	本神崎	八幡神社	平成17.3.31	像高 96.8cm、台高 36.5cm 材質 檜 寄木造	江戸時代初期
㉕	大平文書	大平	個人所有	平成17.3.31	数少ない肥後細川藩領の地方文書 近世文書と近代文書に二分される	江戸～明治時代	㉕	大平文書	大平	個人所有	平成17.3.31	数少ない肥後細川藩領の地方文書 近世文書と近代文書に二分される	江戸～明治時代
㉖	若林文書・系図	一尺屋	個人所有	平成17.3.31	大友氏の水軍として活躍した若林家の文書 国立歴史民俗博物館所蔵若林文書と兄弟文書	戦国時代	㉖	若林文書・系図	一尺屋	個人所有	平成17.3.31	大友氏の水軍として活躍した若林家の文書 国立歴史民俗博物館所蔵若林文書と兄弟文書	戦国時代

■新旧対照表

新

(P256) 有形文化財2件追加

番号	名称または物件	所在地	所有者 または 管理団体	指定年月日	摘要	参考
㉔	木造釈迦如来坐像	永興	臨濟寺	平成 27. 7. 3	江戸時代初期から中期にかけて活躍した大坂の仏師宮内法橋の作と考えられる	江戸時代中期
㉕	松榮神社所蔵絵図	大分市 歴史資料館	松榮神社	平成 27. 12. 25	府内城の櫓および府内藩の施設の姿を表した絵図および指図	江戸時代後期
㉖	合澤家所蔵文書	中島	個人A所有	平成 27. 12. 25	戦国時代に佐賀関一尺屋を拠点として活躍した若林水軍に関係する文書	室町～明治時代
㉗	立小野区有文書	大分市 歴史資料館	立小野区	平成 29. 3. 9	江戸時代延岡藩領であった立小野村に残され伝えられた文書 隣接する村々との境界紛争を中心とし「争連判状」が残されている	江戸～昭和時代
㉘	木造五劫思惟阿弥陀如来坐像	片島	片島下区	平成 29. 3. 9	絵材 寄木造 単純な衣文 ふくよかな童顔 15世紀の作と考えられ、全国的に造像例が少ない	室町時代
㉙	大分市出土同范銅戈	大分市 歴史資料館	大分市 住吉神社	平成 30. 12. 7	細形銅戈「伝岩屋遺跡出土銅戈」と大在の「住吉神社所蔵銅戈」と同じ鋳型より製作された同范銅戈である	弥生時代中期
㉚	紙本着色徳生範公像	田室町	長福寺	令和 1. 12. 6	座主が豊後国黄檗宗の重要寺院であった長福寺の開基であることから、歴史的に貴重。	江戸時代
㉛	少林寺板碑	木上	少林寺	令和 1. 12. 6	銘文より貞和6年(1350)という造立年代、造立の経緯が明らかであり、歴史的に貴重。	南北朝時代

イ 史跡

番号	名称または物件	所在地	所有者 または 管理団体	指定年月日	摘要	参考
㉜	大友頼泰墓	岡川	常楽寺	昭和 49. 1. 9	五輪塔 高さ176cm 大友氏3代 延享元年(1744)以降 平成 19. 6. 4所有者修正	江戸時代
㉝	丹生遺跡	丹生	大分市	昭和 49. 1. 9	昭和 37年～42年にかけて、6次にわたって調査	旧石器時代
㉞	滝尾百穴横穴古墳群	羽田	共有	昭和 49. 1. 9	横穴古墳群	古墳時代後期
㉟	伽藍石仏	永興	個人所有	昭和 49. 1. 9	仏像の配列に特徴あり	鎌倉～室町時代
㊱	府内城跡	荷揚町	大分市	平成 7. 2. 17	県指定部分を除く城地	江戸時代
㊲	佐藤家墓地五輪塔群	前田	個人所有	平成 17. 3. 31	材質すべて角閃石安山岩 完形 41基	戦国～江戸時代初期
㊳	鶴迫磨崖仏	太田	地福寺	平成 17. 3. 31	地藏尊「火防(ひぶせ)の地藏さま」と呼ばれる	安土桃山時代末～江戸時代初期
㊴	鶴迫磨崖連碑	太田	個人所有	平成 17. 3. 31	15基の板碑型の碑 永禄2年(1559)の銘	室町時代末期

ウ 無形民俗文化財

番号	名称または物件	所在地	所有者 または 管理団体	指定年月日	摘要	参考
㊵	柞原太鼓	八幡	柞原太鼓保存会	昭和 54. 6. 14	柞原八幡宮の放生会「浜の市」に起源をもつ	
㊶	深山流 伊与床神楽	端登	深山流伊与床五柱神社神楽社	平成 12. 6. 16	市内唯一の深山流の流れをもち、忠実に古様を伝えている	
㊷	岡倉神楽	下原	岡倉神楽社	平成 18. 3. 7	勇壮な神楽であり、活発に活動また、伝承も計画的に行われている	明治時代～
㊸	二目川の百手まつり	横尾字二目川	二目川百手まつり保存会	平成 25. 1. 11	毎年1月20日に開催 壘の上での的矢を放つ儀式「的矢の儀」を継承している	
㊹	鶴崎踊	鶴崎	鶴崎おどり保存会	昭和 56. 3. 31	江戸時代中期以降に発達 左衛門、猿丸大夫がある	国選択無形民俗文化財 文化財 県選択無形民俗文化財
㊺	戸次のほうちよう作り	中戸次	戸次鮑腸保存会	平成 30. 12. 7	大分地方を代表する郷土料理「ほうちよう」の作り方を継承	

旧

(P256)

番号	名称または物件	所在地	所有者 または 管理団体	指定年月日	摘要	参考
㉔	木造釈迦如来坐像	永興	臨濟寺	平成 27. 7. 3	江戸時代初期から中期にかけて活躍した大坂の仏師宮内法橋の作と考えられる	江戸時代中期
㉕	松榮神社所蔵絵図	大分市 歴史資料館	松榮神社	平成 27. 12. 25	府内城の櫓および府内藩の施設の姿を表した絵図および指図	江戸時代後期
㉖	合澤家所蔵文書	中島	個人A所有	平成 27. 12. 25	戦国時代に佐賀関一尺屋を拠点として活躍した若林水軍に関係する文書	室町～明治時代
㉗	立小野区有文書	大分市 歴史資料館	立小野区	平成 29. 3. 9	江戸時代延岡藩領であった立小野村に残され伝えられた文書 隣接する村々との境界紛争を中心とし「争連判状」が残されている	江戸～昭和時代
㉘	木造五劫思惟阿弥陀如来坐像	片島	片島下区	平成 29. 3. 9	絵材 寄木造 単純な衣文 ふくよかな童顔 15世紀の作と考えられ、全国的に造像例が少ない	室町時代
㉙	大分市出土同范銅戈	大分市 歴史資料館	大分市 住吉神社	平成 30. 12. 7	細形銅戈「伝岩屋遺跡出土銅戈」と大在の「住吉神社所蔵銅戈」と同じ鋳型より製作された同范銅戈である	弥生時代中期

イ 史跡

番号	名称または物件	所在地	所有者 または 管理団体	指定年月日	摘要	参考
㉜	大友頼泰墓	岡川	常楽寺	昭和 49. 1. 9	五輪塔 高さ176cm 大友氏3代 延享元年(1744)以降 平成 19. 6. 4所有者修正	江戸時代
㉝	丹生遺跡	丹生	大分市	昭和 49. 1. 9	昭和 37年～42年にかけて、6次にわたって調査	旧石器時代
㉞	滝尾百穴横穴古墳群	羽田	共有	昭和 49. 1. 9	横穴古墳群	古墳時代後期
㉟	伽藍石仏	永興	個人所有	昭和 49. 1. 9	仏像の配列に特徴あり	鎌倉～室町時代
㊱	府内城跡	荷揚町	大分市	平成 7. 2. 17	県指定部分を除く城地	江戸時代
㊲	佐藤家墓地五輪塔群	前田	個人所有	平成 17. 3. 31	材質すべて角閃石安山岩 完形 41基	戦国～江戸時代初期
㊳	鶴迫磨崖仏	太田	地福寺	平成 17. 3. 31	地藏尊「火防(ひぶせ)の地藏さま」と呼ばれる	安土桃山時代末～江戸時代初期
㊴	鶴迫磨崖連碑	太田	個人所有	平成 17. 3. 31	15基の板碑型の碑 永禄2年(1559)の銘	室町時代末期

ウ 無形民俗文化財

番号	名称または物件	所在地	所有者 または 管理団体	指定年月日	摘要	参考
㊵	柞原太鼓	八幡	柞原太鼓保存会	昭和 54. 6. 14	柞原八幡宮の放生会「浜の市」に起源をもつ	
㊶	深山流 伊与床神楽	端登	深山流伊与床五柱神社神楽社	平成 12. 6. 16	市内唯一の深山流の流れをもち、忠実に古様を伝えている	
㊷	岡倉神楽	下原	岡倉神楽社	平成 18. 3. 7	勇壮な神楽であり、活発に活動また、伝承も計画的に行われている	明治時代～
㊸	二目川の百手まつり	横尾字二目川	二目川百手まつり保存会	平成 25. 1. 11	毎年1月20日に開催 壘の上での的矢を放つ儀式「的矢の儀」を継承している	
㊹	鶴崎踊	鶴崎	鶴崎おどり保存会	昭和 56. 3. 31	江戸時代中期以降に発達 左衛門、猿丸大夫がある	国選択無形民俗文化財 文化財 県選択無形民俗文化財
㊺	戸次のほうちよう作り	中戸次	戸次鮑腸保存会	平成 30. 12. 7	大分地方を代表する郷土料理「ほうちよう」の作り方を継承	

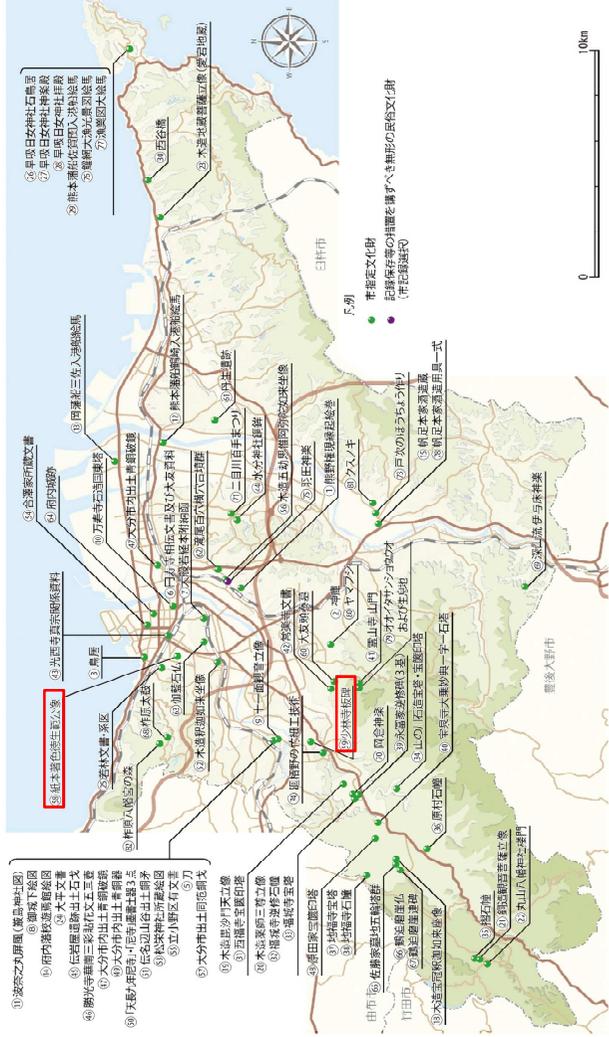
■新旧対照表

新

(P258) 【市指定文化財の分布修正】

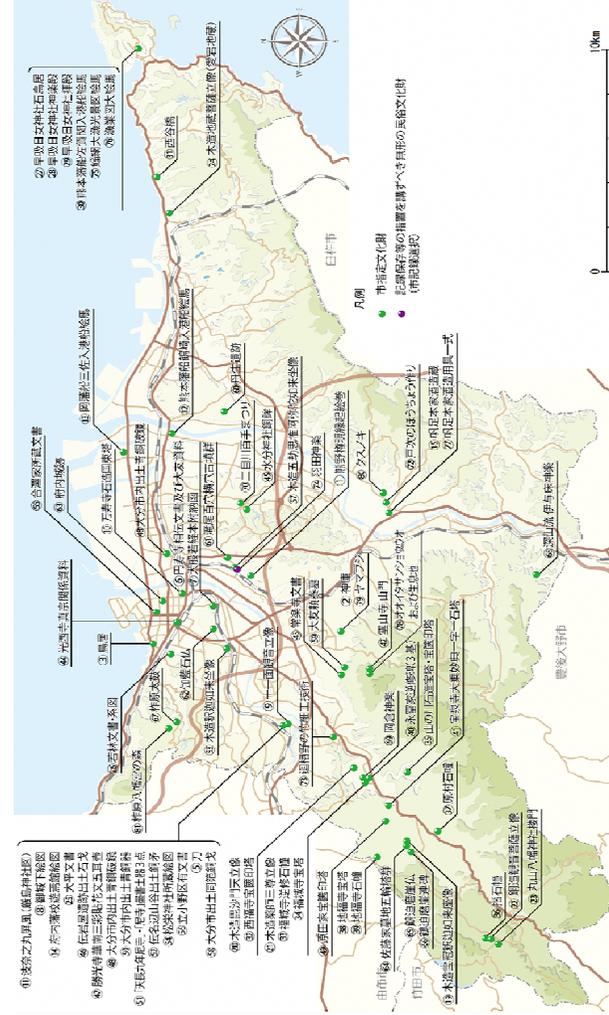
(2箇所追加)

※削除分の1件は個人所有につき、当初より記載なし



旧

(P258) 【市指定文化財の分布修正】



- ① 波奈之木原廟(皇島神社)
- ② 額下下巻図
- ③ 府内源氏遺跡(額下遺跡)
- ④ 水手文書
- ⑤ 石若原遺跡出土石戈
- ⑥ 大分市内出土青銅鍔
- ⑦ 大分市内出土青銅鍔
- ⑧ 大分市内出土青銅鍔
- ⑨ 大分市内出土青銅鍔
- ⑩ 大分市内出土青銅鍔
- ⑪ 大分市内出土青銅鍔
- ⑫ 大分市内出土青銅鍔
- ⑬ 大分市内出土青銅鍔
- ⑭ 大分市内出土青銅鍔
- ⑮ 大分市内出土青銅鍔
- ⑯ 大分市内出土青銅鍔
- ⑰ 大分市内出土青銅鍔
- ⑱ 大分市内出土青銅鍔
- ⑲ 大分市内出土青銅鍔
- ⑳ 大分市内出土青銅鍔
- ㉑ 大分市内出土青銅鍔
- ㉒ 大分市内出土青銅鍔
- ㉓ 大分市内出土青銅鍔
- ㉔ 大分市内出土青銅鍔
- ㉕ 大分市内出土青銅鍔
- ㉖ 大分市内出土青銅鍔
- ㉗ 大分市内出土青銅鍔
- ㉘ 大分市内出土青銅鍔
- ㉙ 大分市内出土青銅鍔
- ㉚ 大分市内出土青銅鍔
- ㉛ 大分市内出土青銅鍔
- ㉜ 大分市内出土青銅鍔
- ㉝ 大分市内出土青銅鍔
- ㉞ 大分市内出土青銅鍔
- ㉟ 大分市内出土青銅鍔
- ㊱ 大分市内出土青銅鍔
- ㊲ 大分市内出土青銅鍔
- ㊳ 大分市内出土青銅鍔
- ㊴ 大分市内出土青銅鍔
- ㊵ 大分市内出土青銅鍔
- ㊶ 大分市内出土青銅鍔
- ㊷ 大分市内出土青銅鍔
- ㊸ 大分市内出土青銅鍔
- ㊹ 大分市内出土青銅鍔
- ㊺ 大分市内出土青銅鍔
- ㊻ 大分市内出土青銅鍔
- ㊼ 大分市内出土青銅鍔
- ㊽ 大分市内出土青銅鍔
- ㊾ 大分市内出土青銅鍔
- ㊿ 大分市内出土青銅鍔

■新旧対照表

新	旧																																																		
<p>(奥付)【変更一覧、変更時期の追加】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 20px auto; width: 80%;"> <p style="text-align: center;">歴史的風致維持向上計画の変更について</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">変更回数</th> <th style="width: 15%;">変更年月</th> <th style="width: 60%;">変更内容</th> <th style="width: 15%;">ページ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">第1回</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">令和3年3月</td> <td>・計画内の文章を一部修正(読み仮名)</td> <td>P.120・124</td> </tr> <tr> <td>・法定協議会の名称変更</td> <td>P.187</td> </tr> <tr> <td>・支援事業、事業期間の変更</td> <td>P.212~230</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">第2回</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">令和4年5月</td> <td>・計画内の文章を一部修正(指定文化財の件数)</td> <td>P.206</td> </tr> <tr> <td>・事業期間の修正</td> <td>P.213~227</td> </tr> <tr> <td>・事業概要の追記</td> <td>P.227</td> </tr> <tr> <td>・指定文化財の一覧・分布を修正</td> <td>P.246~258</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 20px auto; width: 80%;"> <p style="text-align: center;">大分市歴史的風致維持向上計画</p> <p>発行：令和元年6月 変更：令和4年5月 編集：大分市都市計画部都市計画課 教育委員会教育部文化財課</p> <p>〒870-8540 大分市荷揚町2番31号 <input type="checkbox"/>都市計画課 TEL：097-537-5967 FAX：097-536-7719 E-mail：tokei4@city.oita.oita.jp <input type="checkbox"/>文化財課 TEL：097-534-6111 FAX：097-536-0435</p> </div>	変更回数	変更年月	変更内容	ページ	第1回	令和3年3月	・計画内の文章を一部修正(読み仮名)	P.120・124	・法定協議会の名称変更	P.187	・支援事業、事業期間の変更	P.212~230	第2回	令和4年5月	・計画内の文章を一部修正(指定文化財の件数)	P.206	・事業期間の修正	P.213~227	・事業概要の追記	P.227	・指定文化財の一覧・分布を修正	P.246~258	<p>(奥付)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 20px auto; width: 80%;"> <p style="text-align: center;">歴史的風致維持向上計画の変更について</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">変更回数</th> <th style="width: 15%;">変更年月</th> <th style="width: 60%;">変更内容</th> <th style="width: 15%;">ページ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">第1回</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">令和3年3月</td> <td>・計画内の文章を一部修正(読み仮名)</td> <td>P.120・124</td> </tr> <tr> <td>・法定協議会の名称変更</td> <td>P.187</td> </tr> <tr> <td>・支援事業、事業期間の変更</td> <td>P.212~230</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 20px auto; width: 80%;"> <p style="text-align: center;">大分市歴史的風致維持向上計画</p> <p>発行：令和元年6月 変更：令和3年3月 編集：大分市都市計画部都市計画課 教育委員会教育部文化財課</p> <p>〒870-8540 大分市荷揚町2番31号 <input type="checkbox"/>都市計画課 TEL：097-537-5967 FAX：097-536-7719 E-mail：tokei4@city.oita.oita.jp <input type="checkbox"/>文化財課 TEL：097-534-6111 FAX：097-536-0435</p> </div>	変更回数	変更年月	変更内容	ページ	第1回	令和3年3月	・計画内の文章を一部修正(読み仮名)	P.120・124	・法定協議会の名称変更	P.187	・支援事業、事業期間の変更	P.212~230																
変更回数	変更年月	変更内容	ページ																																																
第1回	令和3年3月	・計画内の文章を一部修正(読み仮名)	P.120・124																																																
		・法定協議会の名称変更	P.187																																																
		・支援事業、事業期間の変更	P.212~230																																																
第2回	令和4年5月	・計画内の文章を一部修正(指定文化財の件数)	P.206																																																
		・事業期間の修正	P.213~227																																																
		・事業概要の追記	P.227																																																
		・指定文化財の一覧・分布を修正	P.246~258																																																
変更回数	変更年月	変更内容	ページ																																																
第1回	令和3年3月	・計画内の文章を一部修正(読み仮名)	P.120・124																																																
		・法定協議会の名称変更	P.187																																																
		・支援事業、事業期間の変更	P.212~230																																																